

春日校区社会福祉協議会

地 域 福 祉 活 動 計 画

春日校区社会福祉協議会・大分市社会福祉協議会

ごあいさつ

大分市においては、令和6年度より第5期大分市地域福祉計画・第6次地域福祉活動計画に基づき、地域福祉推進に向けた取り組みが推進されています。

ここ春日校区においても、急速な高齢化社会をむかえ、その多くの高齢者を含めた全ての地域住民が、住み慣れた春日で、安心して暮らしていける、そういう街づくりが求められています。

そのためには、各自治会を中心に、民生委員・児童委員、青少年健全育成協議会等、各団体のもつ機能を組み合わせ、地域住民一人一人の助け合い支え合いが、その望ましい地域社会を生み出すものと確信します。

私たち春日校区社会福祉協議会では、これまで皆様のご理解ご協力をいただきながら、「小地域福祉ネットワーク活動事業」として高齢者等への支援活動を行ってきました。

一方、国においては、地域共生社会実現にむけた地域福祉推進の概念が社会福祉法でも提唱されるなど、社会福祉を取り巻く環境は大きく変動しています。こうした状況に対応していくためには、専門職の対応のみならず、地域社会のつながりと地域住民同士の支援活動が欠かせない重要な要素と思われまます。

そこでこの度、「小地域福祉ネットワーク活動」の一環として実施しました、ふれあい対象者に関する実態調査をもとに、これからの春日校区が目指す地域福祉活動推進のあり方を、関係各方面の主だった方々のご協力をいただき、「春日校区地域福祉活動計画」としてここに策定いたしました。

今後、この計画が春日校区の福祉活動の発展に繋がることを祈念するとともに、この計画を策定するにあたってご尽力いただきました関係各位、ならびにご意見をお寄せいただきました方々に深甚なる謝意を表し、策定に当たってのごあいさつといたします。

春日校区社会福祉協議会
会長 藤田 卓也

目 次

第1章 はじめに	1
(1) 計画策定の背景	1
(2) 大分市社会福祉協議会とは	1
(3) 校(地)区社会福祉協議会とは	1
第2章 春日校区について	2
(1) 春日校区の概要	2
(2) 春日校区社会福祉協議会について	2
(3) 人口推移	2
(4) ふれあい活動(小地域福祉ネットワーク活動)の現状	3
(5) 高齢者サロンについて	5
(6) 老人クラブについて	7
第3章 ふれあい対象者に関する実態調査	8
基本目標1:「お互いに支え合うひとづくり」に関する設問	9
基本目標2:「地域で支え合う場づくり」に関する設問	11
基本目標3:「誰もが安心して暮らすための体制づくり」に関する設問	12
第4章 春日校区の活動計画と策定までのプロセス	18
(1) 目標と具体的取り組み	18
(2) 計画策定メンバー	21
(3) 実施経過	22
第5章 資料編	23
(1) 実態調査票	23
(2) 実態調査集計結果	26
(3) 地区別実態調査集計結果	44

第1章 はじめに

(1) 計画策定の背景

春日校区は、大分市の北西部に位置し、大分県庁や大分市役所などの官公庁や商店街等商業施設が集中する市街に隣接しています。校区内には、大分県立図書館や大分西部公民館などの公共施設や大型商業施設があり、近年はマンションも建てられています。その一方で、春日神社などの歴史ある寺社もみられます。

時代の変遷とともに、地域の様子や人と人との関わり方も少しずつ変わっていますが、今も昔も地域を支えてきたのは、校区に対する愛情と人と人とのつながりです。

私たちは、先輩たちが守り育ててきた地域の絆をさらに太く育て、次の子どもたちの世代に引き継いでいくため、今回、大分市社会福祉協議会とともに、「春日校区地域福祉活動計画」を策定いたしました。

誰もが住みたくなる町、いつまでも住みたい町、春日校区を目指してまいります。

(2) 大分市社会福祉協議会とは

社会福祉協議会は、社会福祉法第109条に規定された「地域福祉の推進を目的とした団体」で、民間組織としての自主性と広く住民や社会福祉関係者に支えられた公共性という2つの側面をあわせもった、民間の非営利組織です。社協は、地域の中の課題の把握に努め、組織構成員とともに考え、協力して解決を図ることにより、住民全体の地域福祉の向上を目指しています。

(3) 校(地)区社会福祉協議会とは

小学校区や中学校区等を基本に、自治会、民生委員・児童委員、老人クラブ、子ども会、校区内のボランティア等の地域住民で組織されている団体です。大分市社会福祉協議会との連携のもと、市内に45の校(地)区社会福祉協議会が組織されており、各地域の特性を考慮した個性ある自主的な福祉活動(ふれあい活動〔小地域福祉ネットワーク活動〕や、校区単位での子育て支援や地域住民の交流行事など)を展開しています。

第2章 春日校区について

(1) 春日校区の概要

◇春日校区は、大分市の北西部に位置し、官公庁や商業施設が集中する市街に隣接しています。校区内にも、大分県立図書館、大分西部公民館などの公共施設や多くの小売店、商業施設があります。また、春日神社をはじめとする歴史ある寺社もみられます。

◇22の自治会区と29の民生委員・児童委員区、2名の主任児童委員、関係団体等と連携し、「地域福祉の共助の核」として様々な事業に取り組んでいます。

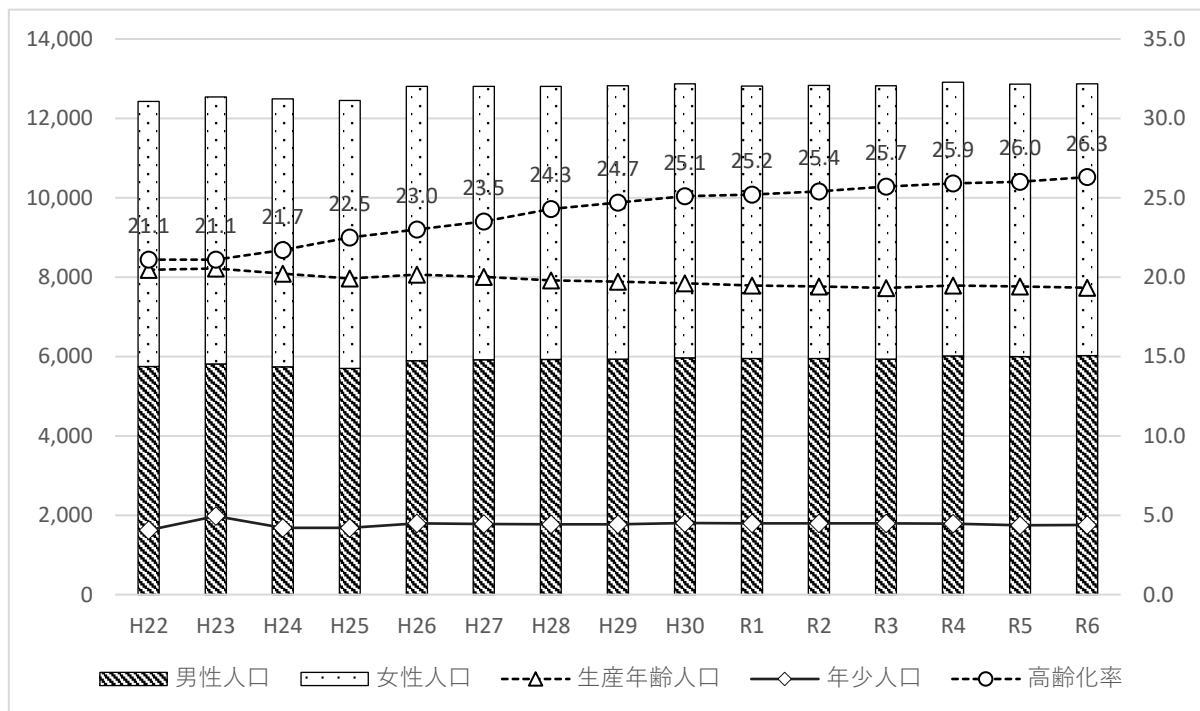


(2) 春日校区社会福祉協議会について

◇昭和29年に設立されました。

(3) 人口推移

◇性別人口・生産年齢人口・年少人口・高齢化率の推移



資料：大分市住民基本台帳人口（各年代4月時点）

(4)ふれあい活動(小地域福祉ネットワーク活動)の現状

①ふれあい対象者 428人

④緊急連絡先のない対象者 18人

②ふれあい協力者 356人

⑤協力者・緊急連絡先が共にない対象者 7人

③協力者のいない対象者 115人

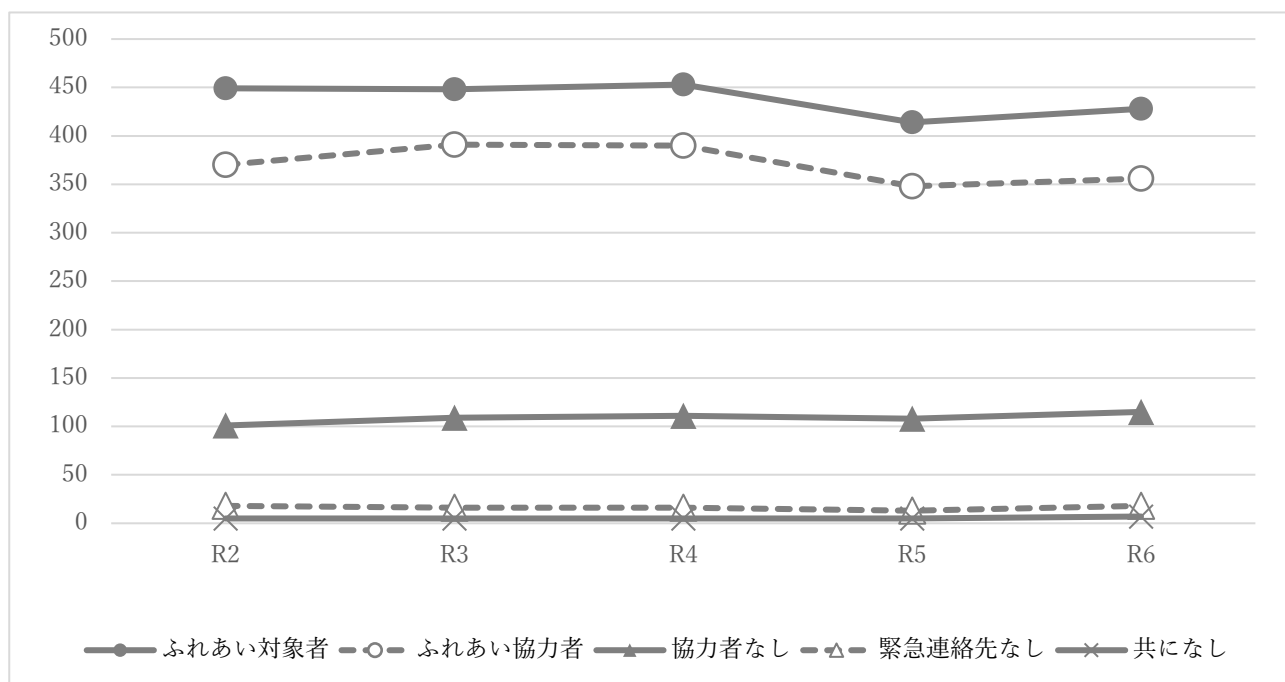
(令和6年4月1日現在)

番号	自治会名	自治会長	①	②	③	④	⑤	番号	民生委員担当区	民生委員	①	②	③	④	⑤
1	勢家町1丁目	磯崎 鴻一郎	4	6	0	0	0	1	勢家町1丁目	佐藤 久恵	4	6	0	0	0
2	勢家町2丁目	後藤 輝代	3	1	2	0	0	2	勢家町2丁目	大渡 由美子	3	1	2	0	0
3	勢家町3丁目	是永 誠一	15	16	0	0	0	3	勢家町3丁目	後藤 和子	15	16	0	0	0
4	勢家町4丁目	福島 邦恭	18	15	1	0	0	4	勢家町4丁目	村岡 潔	18	15	1	0	0
5	東春日町	木村 吉男	46	36	17	2	1	5	東春日町 (1~7番)	佐藤 由江	21	22	4	1	1
								6	東春日町 (8~20番)	佐藤 英子	9	8	3	0	0
								7	東春日町 (新町15~19番)	四藤 近義	16	6	10	1	0
6	西春日町	勝田 芳樹	41	37	10	4	0	8	西春日町	奥本 靖子	41	37	10	4	0
7	中春日町	園田 龍吉	25	15	13	2	1	9	中春日町 (1番~11番)	入江 俊子	9	9	2	0	0
								10	中春日町 (12番~16番)	山田 聖子	16	6	11	2	1
8	南春日町	荒金 一義	32	23	7	2	2	11	南春日町 (1番、3番1号~11号、 7番~12番)	大津 悦子	24	18	5	1	1
								12	南春日町 (2番、3番12号~29号、 4番~6番)	渡邊 隆文	8	5	2	1	1
9	王子西南町	藤田 卓也	16	17	3	1	0	13	王子南町 (1~8番)	古山 美由紀	8	7	3	0	0
								14	王子南町 (9~10番) 王子西町 (1番~5番、12~14番)	青柳 静枝	8	10	0	1	0
10	王子北町	安東 道明	8	8	1	0	0	15	王子北町	宮崎 さち子	8	8	1	0	0
11	王子中町東	渡邊 英人	17	13	6	1	1	16	王子中町東 (1、5、8番)	田口 玲子	17	13	6	1	1
12	王子中町西	永田 吉功	16	15	2	0	0	17	王子中町西 (2~4、6、7、9~11番)	麻生 規子	16	15	2	0	0
13	王子町	児玉 真一	14	22	1	0	0	18	王子町 (1~12番、王子港町)	児玉 豊見	14	22	1	0	0
14	王子新町	園田 俊隆	15	13	2	0	0	19	王子新町	安部 りつ子	15	13	2	0	0
15	王子山の手	村井 英治	51	36	20	2	0	20	王子山の手町(A) (1~9番)	山中 稔子	16	12	8	0	0
								21	王子山の手町(B) (10~29番)	武内 智恵美	24	16	10	1	0
								22	王子山の手町(C) (30~38番) 新春日町2丁目6番	三ヶ尻 三千子	11	8	2	1	0
16	王子西町	中嶋 啓允	21	19	6	0	0	23	王子西町 (6~11番、7丁目王子)	阿部 恒子	21	19	6	0	0
17	東生石	直野 憲生	19	13	7	0	0	24	生石 1丁目、3丁目、 4丁目1番、5丁目1~5番	木本 恵美子	19	13	7	0	0
18	西生石	川端 清治	4	4	0	1	0	25	生石 2丁目、4丁目2、3番 5丁目6~8番	跡部 友喜	4	4	0	1	0
19	南生石東	片田 栄雄	21	14	7	1	1	26	南生石東	熊野 清丸	21	14	7	1	1
20	南生石西	河野 時夫	10	7	1	0	0	27	南生石西	伊東 玉英	10	7	1	0	0
21	浜の市	甲斐 勝子	10	13	0	0	0	28	浜の市	宮脇 元輝	10	13	0	0	0
22	生石港町	中村 良和	22	15	9	2	1	29	生石港町	高市 政雄	22	15	9	2	1

春日校区のふれあい対象者の推移

(令和6年4月1日現在)

春日校区	R2	R3	R4	R5	R6
ふれあい対象者	449	448	453	414	428
ふれあい協力者	367	391	390	348	356
協力者なし	101	109	111	108	115
緊急連絡先なし	18	16	16	13	18
共になし	5	5	5	5	7



～ふれあい活動（小地域福祉ネットワーク活動）とは～

「ふれあい協力者」が、日常生活の中で、「ふれあい対象者」への「見守り」や「声かけ」を行い、様々な変化に気づき、自治会長や民生委員・児童委員などにつなげ、地域での見守り合い・話し合い・助け合いの仕組みを構築する活動です。

「ふれあい対象者」：対象者の条件は特にありませんが、支援を要するひとり暮らし高齢者や障がい者、ひとり親世帯等で、本人が活動に同意された方

「ふれあい協力者」：ふれあい対象者に対し、日常的に「見守り」「声かけ」をしていただける近隣住民の方

「緊急連絡先」：ふれあい対象者の緊急時（事故や急病など）の連絡先で、原則ふれあい対象者の身内の方をお願いしています

(5)高齢者サロンについて

春日校区内にある高齢者サロンは 15 ヶ所です。

(令和 6 年 4 月現在)

	自治会名	サロン名	開催場所	年間開催数	参加者数	登録日
1	勢家 1、2、3、4 丁目	虹の会勢家	法専寺潮音会館	11	32	H18.2.1
2	中春日町	ふれあいサロンあやめ	中春日町公民館	21	41	H16.11.4
3	王子西町	サロンひまわり会	アステイオン王子会議室、王子西町児童公園	26	21	H19.5.23
4	西春日町	サロンふたば	西春日町公民館、ふたば公園	12	44	H20.7.11
5	浜の市	ふれあいサロンなかよし	浜の市一丁目二宮邸	4	27	H22.3.16
6	南生石西	南生石西ゆうゆうサロン	南生石西公民館	6	20	H22.3.16
7	王子山の手	やまばとサロン	西部公民館	11	40	H22.4.30
8	東春日町	サロン・クローバー	春日会館	12	15	H23.3.31
9	王子新町	サロン王子新町	西部公民館、やまばと公園	23	25	H23.8.30
10	王子西南	サロンひばり	大分西部公民館	11	28	H24.3.26
11	生石港町	サロン赤灯台	生石公民館	30	53	H27.3.4
12	西生石	ふれあいサロンひまわり	川清ビル	35	57	H28.6.21
13	王子北町、王子中町東	ふれあいサロンミモザ	春日校区公民館	12	31	R4.3.31
14	王子町	王子町あじさい会	春日校区公民館	11	25	R4.3.31
15	王子中町西	すみれ会	春日校区公民館	14	18	R4.3.31
16	王子中町東、王子中町西、王子北町、王子町	ふれあいサロンあじさい会	春日校区公民館	-	-	H13.3.30

※ふれあいサロンあじさい会は令和 5 年度以降、ふれあいサロンミモザ、王子町あじさい会、すみれ会の 3 つに分かれました。

春日校区での高齢者サロン参加者の推移

	自治会名	サロン名	R2	R3	R4	R5	R6
1	勢家 1、2、3、4 丁目	虹の会勢家	39	41	35	34	32
2	中春日町	ふれあいサロンあやめ	39	36	39	39	41
3	王子西町	サロンひまわり会	29	29	29	27	21
4	西春日町	サロンふたば	43	47	45	44	44
5	浜の市	ふれあいサロンなかよし	40	27	25	25	27
6	南生石西	南生石西ゆうゆうサロン	33	32	27	24	20
7	王子山の手	やまばとサロン	48	44	44	39	40
8	東春日町	サロン・クローバー	24	22	17	18	15
9	王子新町	サロン王子新町	31	31	25	26	25
10	王子西南	サロンひばり	28	29	28	30	28
11	生石港町	サロン赤灯台	36	36	63	40	53
12	西生石	ふれあいサロンひまわり	58	60	60	58	57
13	王子北町、王子中町東	ふれあいサロンミモザ	-	-	-	24	31
14	王子町	王子町あじさい会	-	-	-	26	25
15	王子中町西	すみれ会	-	-	-	17	18
16	王子中町東、王子中町	ふれあいサロンあじさい会	60	61	64	-	-
17	南春日町	南春日町ふれあいサロン	29	28	27	-	-

※ふれあいサロンあじさい会は令和 5 年度以降、ふれあいサロンミモザ、王子町あじさい会、すみれ会の 3 つに分かれました。

※南春日町ふれあいサロンは令和 4 年度をもって、大分市地域ふれあいサロン事業への登録が廃止となりました。

(6) 老人クラブについて

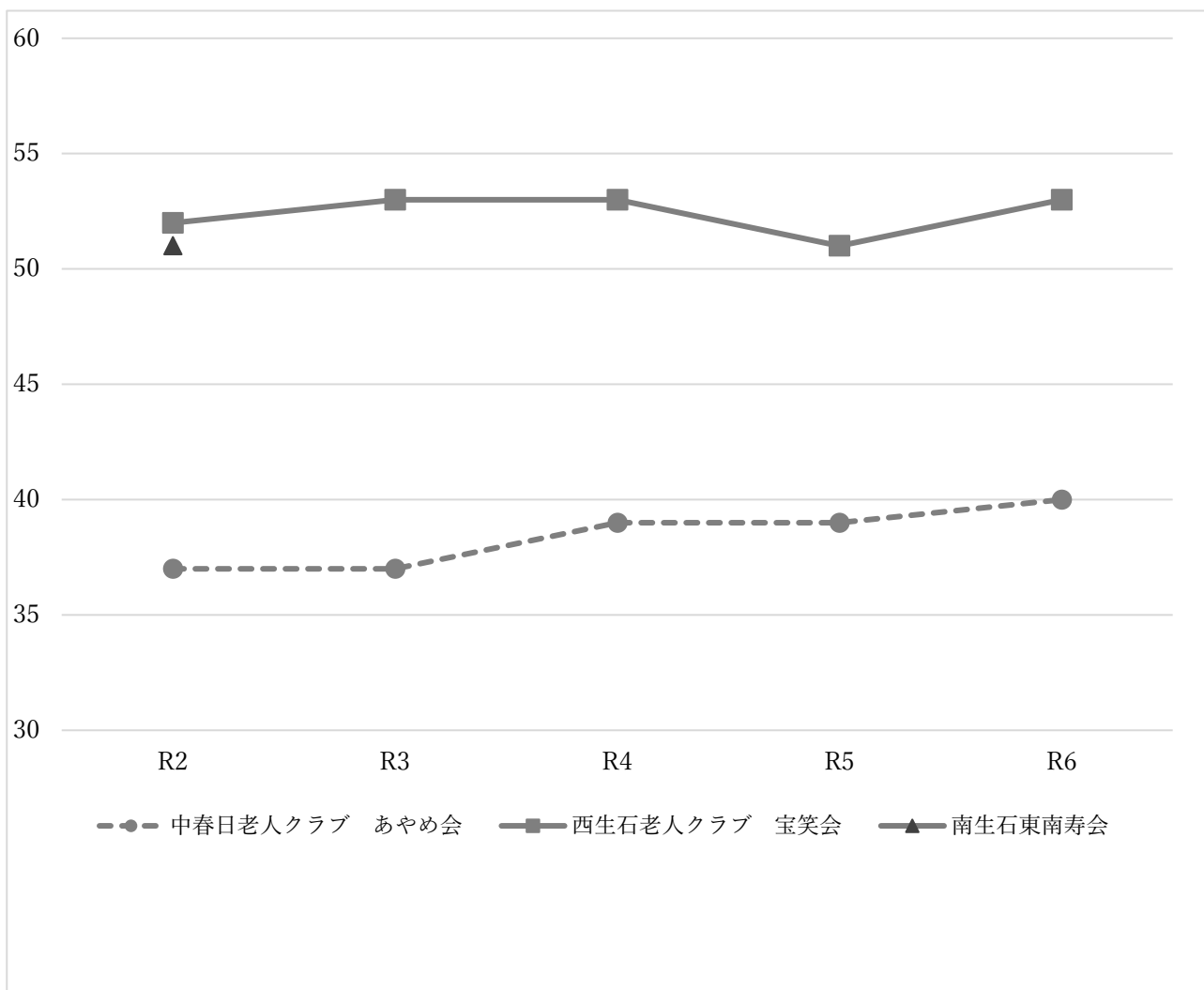
春日校区では、大分市老人クラブ連合会に加入している老人クラブは2ヶ所あります。

(令和6年4月現在)

老人クラブ参加者の推移

	自治会名	老人クラブ名	R2	R3	R4	R5	R6
1	中春日町	中春日老人クラブ あやめ会	37	37	39	39	40
2	西生石	西生石老人クラブ 宝笑会	52	53	53	51	53
3	南生石東	南生石東南寿会	51	-	-	-	-

※南生石東南寿会は令和2年度をもって、廃止となりました。



※南生石東南寿会は令和2年度をもって、廃止となりました。

第3章 ふれあい対象者に関する実態調査

本計画を策定するにあたり、春日校区内のふれあい対象者の生活の実態や地域福祉に関する意識を把握するため、実態調査を実施しました。

実施期間	令和6年6月15日～令和6年8月5日
対象	春日校区内のふれあい対象者 389名 (令和6年6月15日現在の対象者数)
回答者数	364名
回答率	93.6%
調査協力者	春日校区民生委員・児童委員の方々

【地区別の状況】

	東地区	中地区	西地区
ふれあい対象者数	182	147	60
回答者数	174	136	54
回答率	96%	93%	90%

大分市社会福祉協議会では、第5期大分市地域福祉計画・第6次地域福祉活動計画に基づいて、地域福祉の推進に取り組んでいますが、その基本目標として、「お互いに支え合うひとづくり」「地域で支え合う場づくり」「誰もが安心して暮らすための体制づくり」を掲げています。

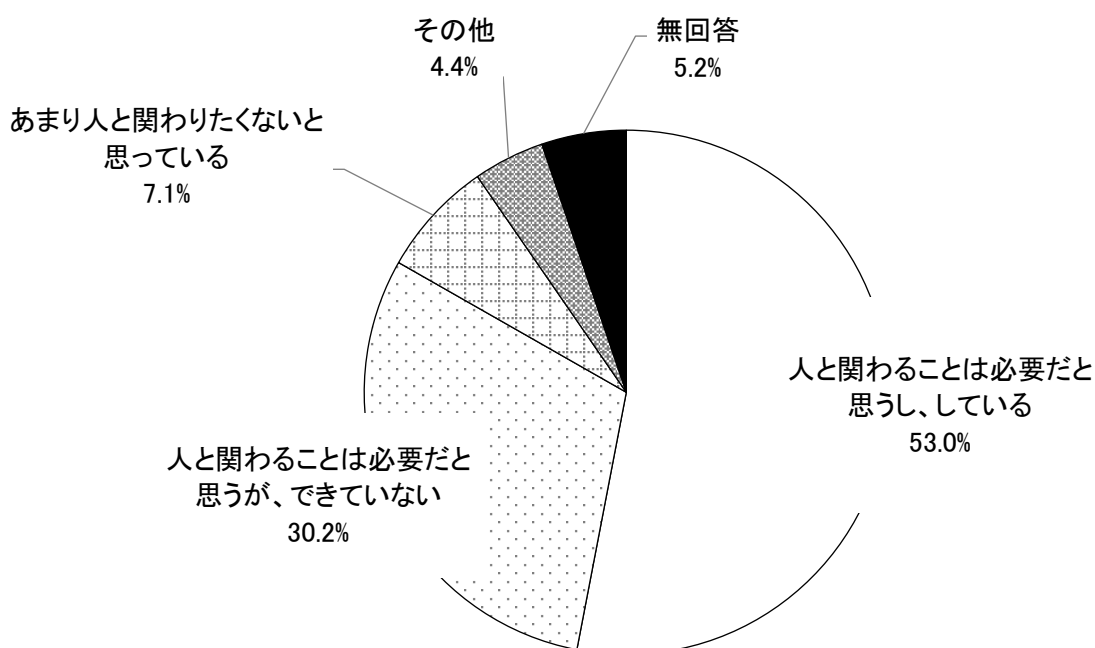
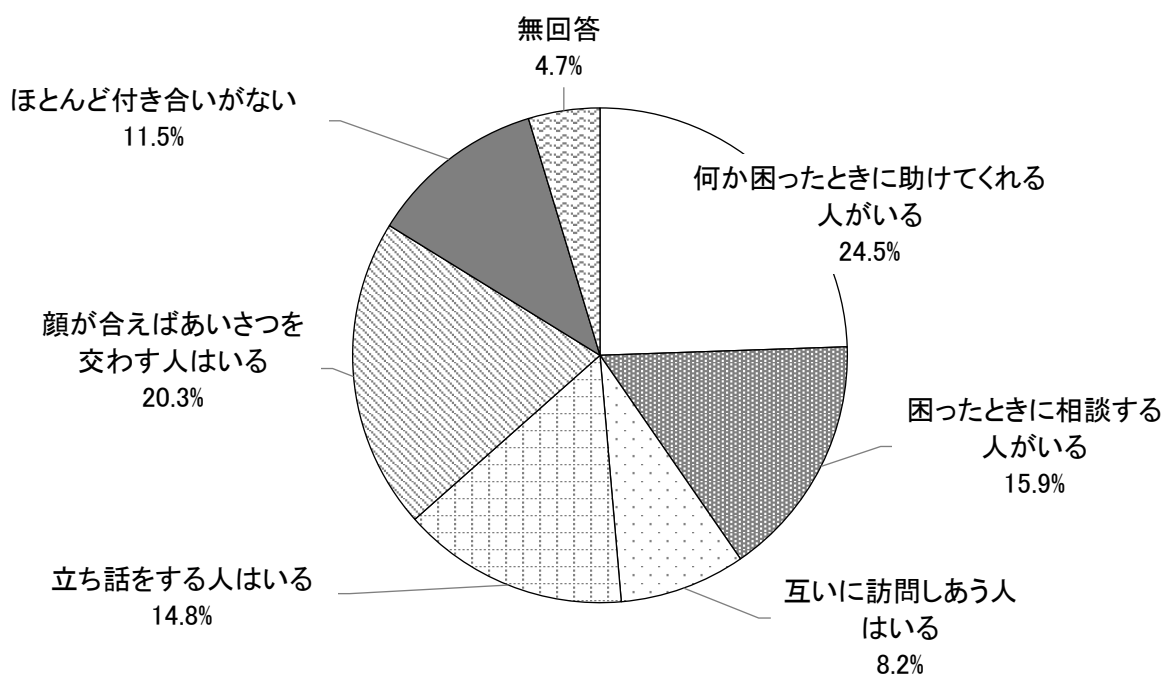
今回の実態調査では、この3つの基本目標に沿って、アンケートの設問を設定いたしました。基本目標ごとの調査結果の概要は次のとおりです。

基本目標1:「お互いに支え合うひとづくり」に関する設問

近所づきあいの程度・考え方(問 15・16)

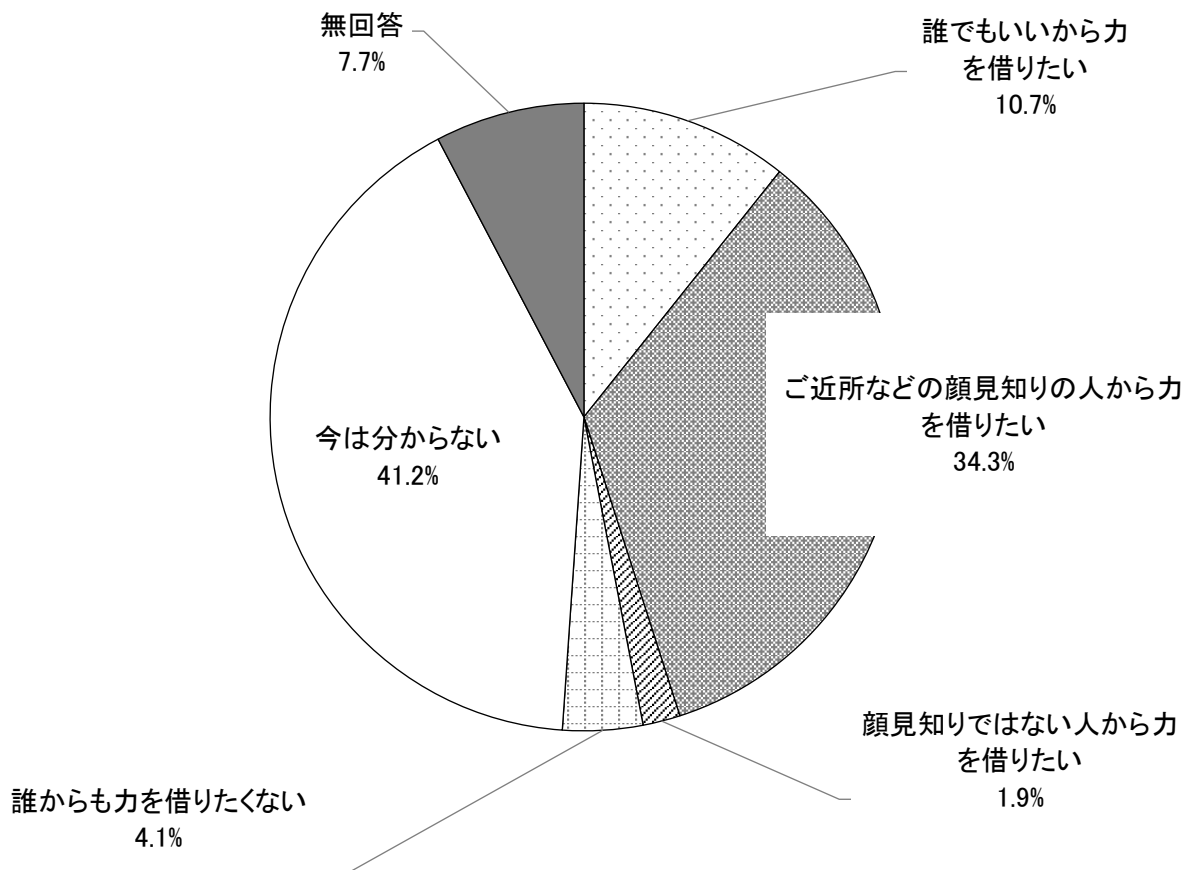
近所づきあいの程度については、「何か困ったときに助けてくれる人がいる」が 24.5%と最も高く、次いで、「顔が合えばあいさつを交わす人はいる」が 20.3%、「困ったときに相談する人がいる」が 15.9%となっている。なお、「ほとんど付き合いがない」は 11.5%となっている。

近所づきあいの考え方については、「人と関わることは必要だと思うし、している」が 53.0%と最も高く、次いで、「人と関わることは必要だと思うが、できていない」が 30.2%となっている。なお、「あまり人と関わりたくないと思っている」は 7.1%となっている。



日常生活のお手伝いに力を借りたいか(問 10)

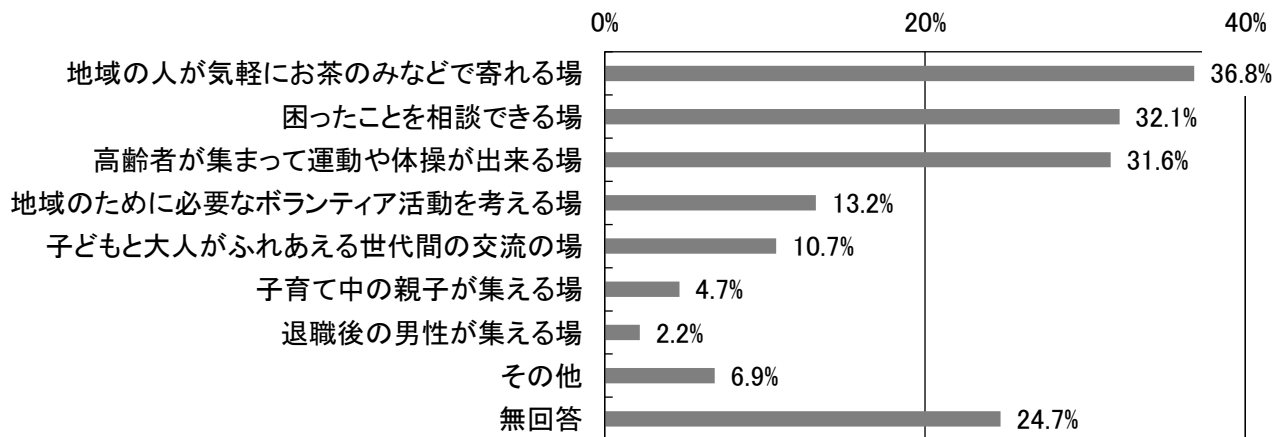
日常生活のお手伝いに力を借りたいかについては、「誰でもいいから力を借りたい」と答える方よりも、「ご近所などの顔見知りの人から力を借りたい」と答える方が多い傾向にある。



基本目標2:「地域で支え合う場づくり」に関する設問

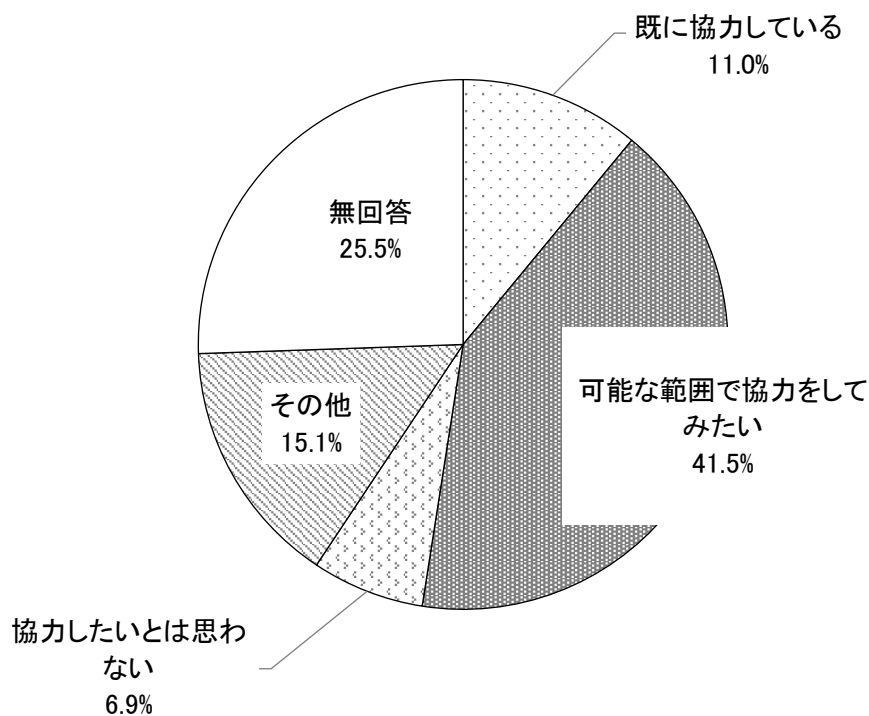
必要と思われる「地域住民がつながる場」(問 17)

必要と思われる「地域住民がつながる場」については、「地域の人が気軽にお茶のみなどで寄れる場」が 36.8%と最も高く、次いで、「困ったことを相談できる場」が 32.1%、「高齢者が集まって運動や体操が出来る場」が 31.6%、となっている。



地域の行事や活動に協力してみたいと思うか(問 20)

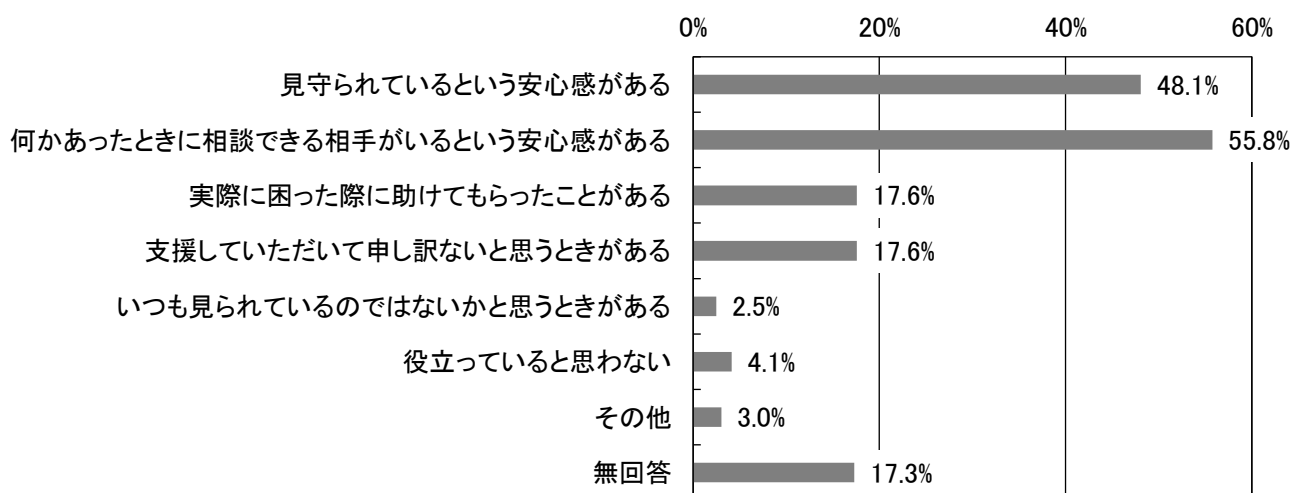
地域の行事や活動に協力してみたいと思うかについては、「既に協力している」が 11.0%、「可能な範囲で協力してみたい」が 41.5%、「協力したいとは思わない」が 6.9%、「その他」が 15.1%となっている。



基本目標3:「誰もが安心して暮らすための体制づくり」に関する設問

「ふれあい活動」で感じること(問 19)

「ふれあい活動」で感じることについては、「何かあったときに相談できる相手がいるという安心感がある」が 55.8%と最も高く、次いで、「見守られているという安心感がある」が 48.1%となっている。

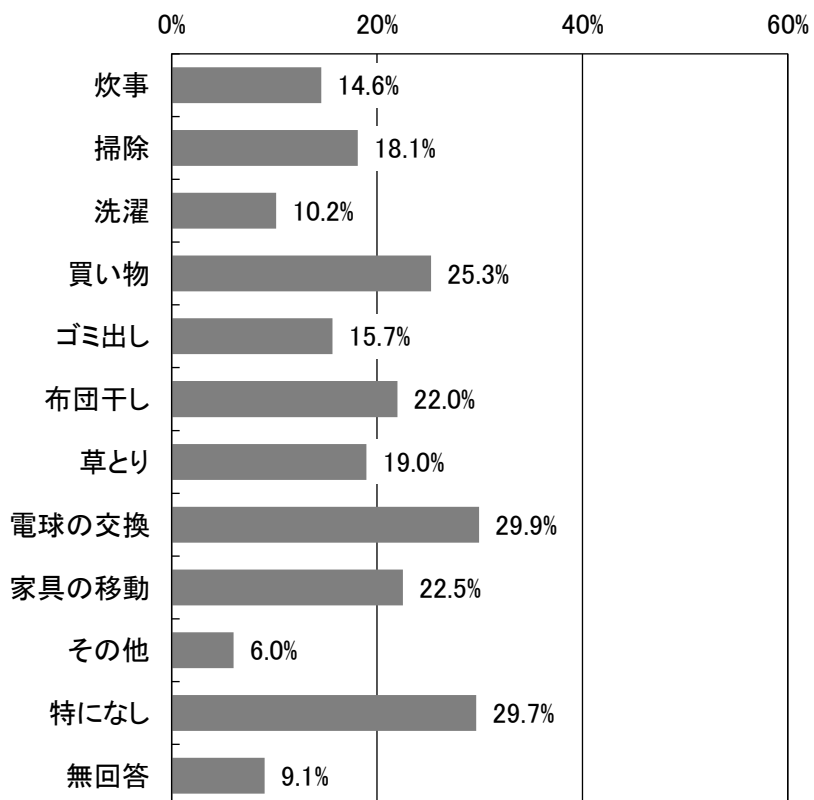


日常の困りごと(問 7)

日常の困りごとについては、「電球の交換」が 29.9%と最も高く、次いで、「買い物」が 25.3%、「家具の移動」が 22.5%となっている。なお、「特になし」は 29.7%となっている。

(N=364)

	回答数	割合
炊事	53	14.6%
掃除	66	18.1%
洗濯	37	10.2%
買い物	92	25.3%
ゴミ出し	57	15.7%
布団干し	80	22.0%
草とり	69	19.0%
電球の交換	109	29.9%
家具の移動	82	22.5%
その他	22	6.0%
特になし	108	29.7%
無回答	33	9.1%

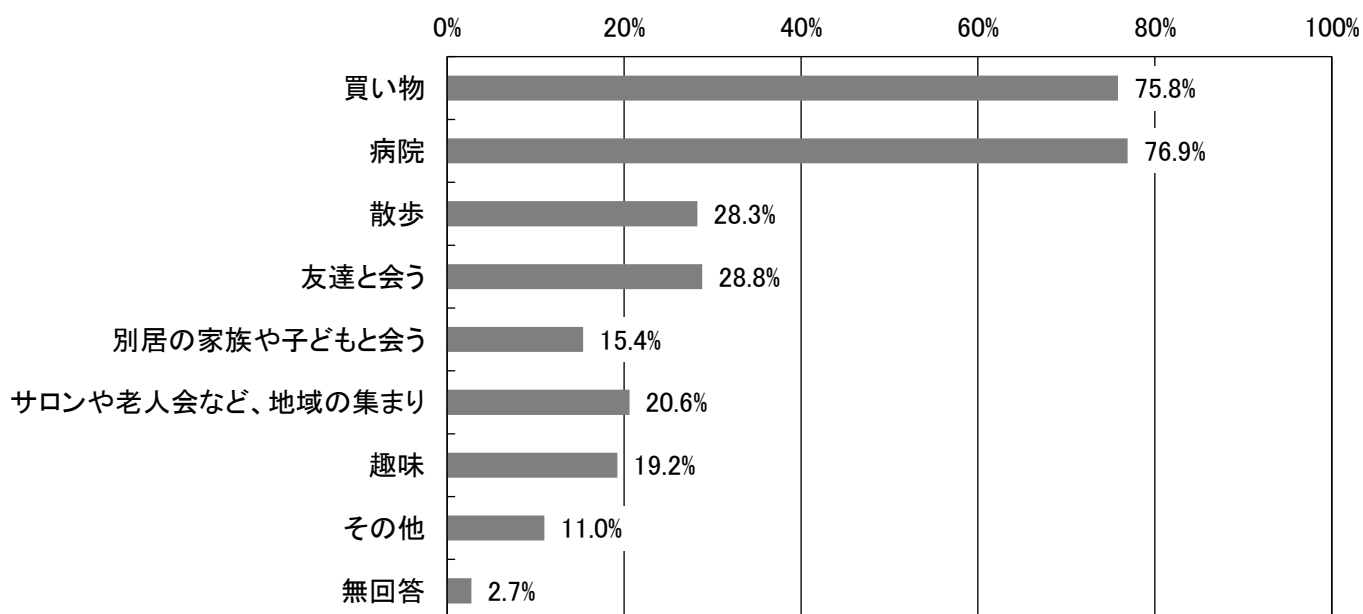


外出の理由(問 11)

外出の理由については、「病院」が76.9%と最も高く、次いで、「買い物」が75.8%、「友達と会う」が28.8%となっている。

(N=364)

	回答数	割合
買い物	276	75.8%
病院	280	76.9%
散歩	103	28.3%
友達と会う	105	28.8%
別居の家族や子どもと会う	56	15.4%
サロンや老人会など、地域の集まり	75	20.6%
趣味	70	19.2%
その他	40	11.0%
無回答	10	2.7%

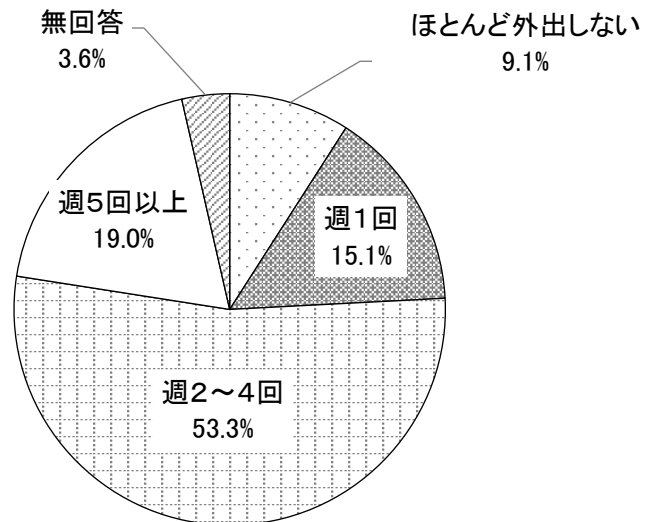


外出の頻度(問 12)

外出の頻度については、「週 2～4 回」が 53.3%と最も高く、次いで、「週 5 回以上」が 19.0%、「週 1 回」が 15.1%となっている。なお、「ほとんど外出しない」は 9.1%となっている。

(N=364)

	回答数	割合
ほとんど外出しない	33	9.1%
週 1 回	55	15.1%
週 2～4 回	194	53.3%
週 5 回以上	69	19.0%
無回答	13	3.6%

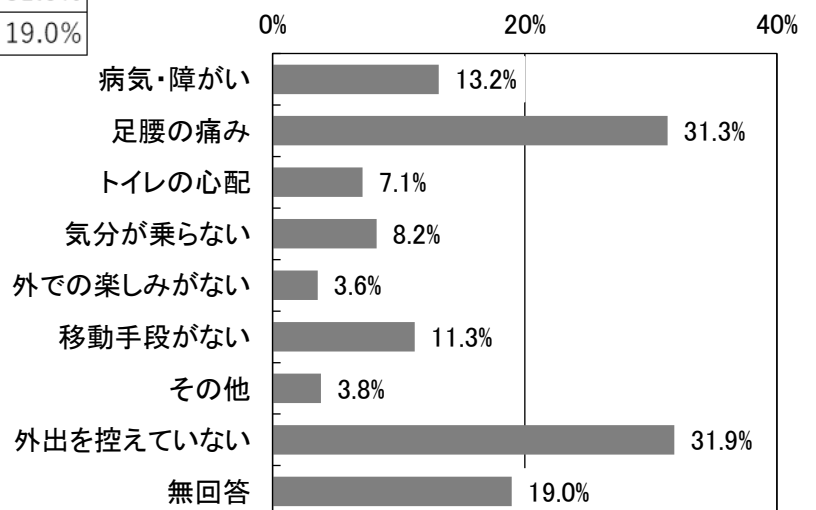


外出を控える理由(問 13)

外出を控える理由については、「足腰の痛み」が 31.3%と最も高く、次いで、「病気・障がい」が 13.2%、「移動手段がない」が 11.3%となっている。
 なお、「外出を控えていない」は 31.9%となっている。

(N=364)

	回答数	割合
病気・障がい	48	13.2%
足腰の痛み	114	31.3%
トイレの心配	26	7.1%
気分が乗らない	30	8.2%
外での楽しみがない	13	3.6%
移動手段がない	41	11.3%
その他	14	3.8%
外出を控えていない	116	31.9%
無回答	69	19.0%

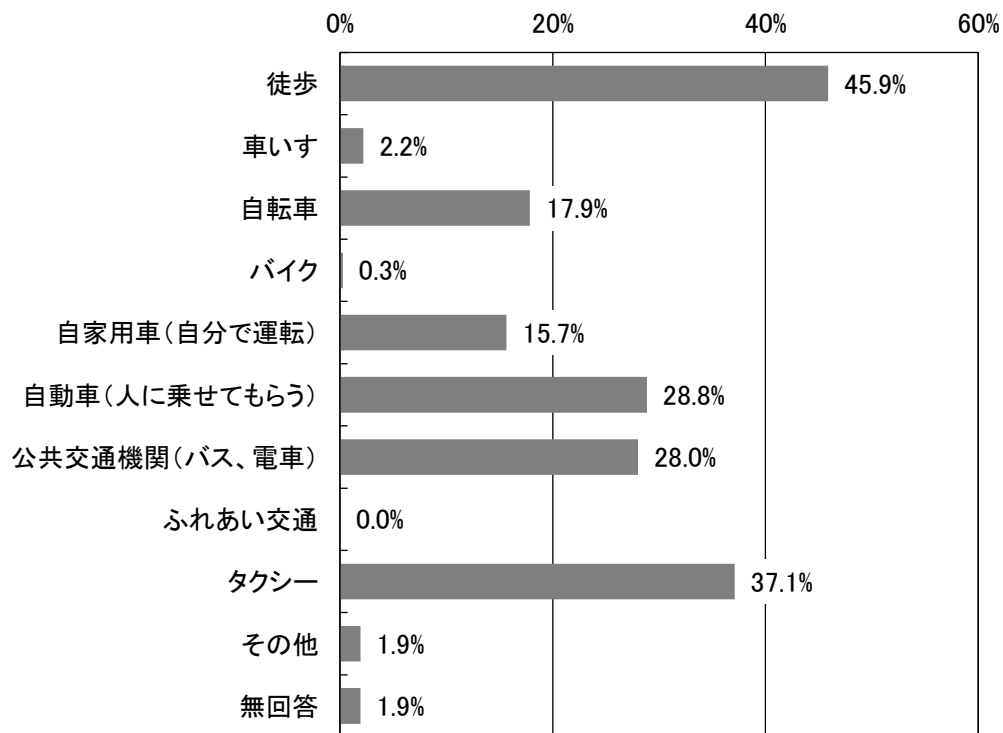


主な外出の移動手段(問 14)

主な外出の移動手段については、「徒歩」が 45.9%と最も高く、次いで、「タクシー」が 37.1%、「自動車（人に乗せてもらう）」が 28.8%となっている。

(N=364)

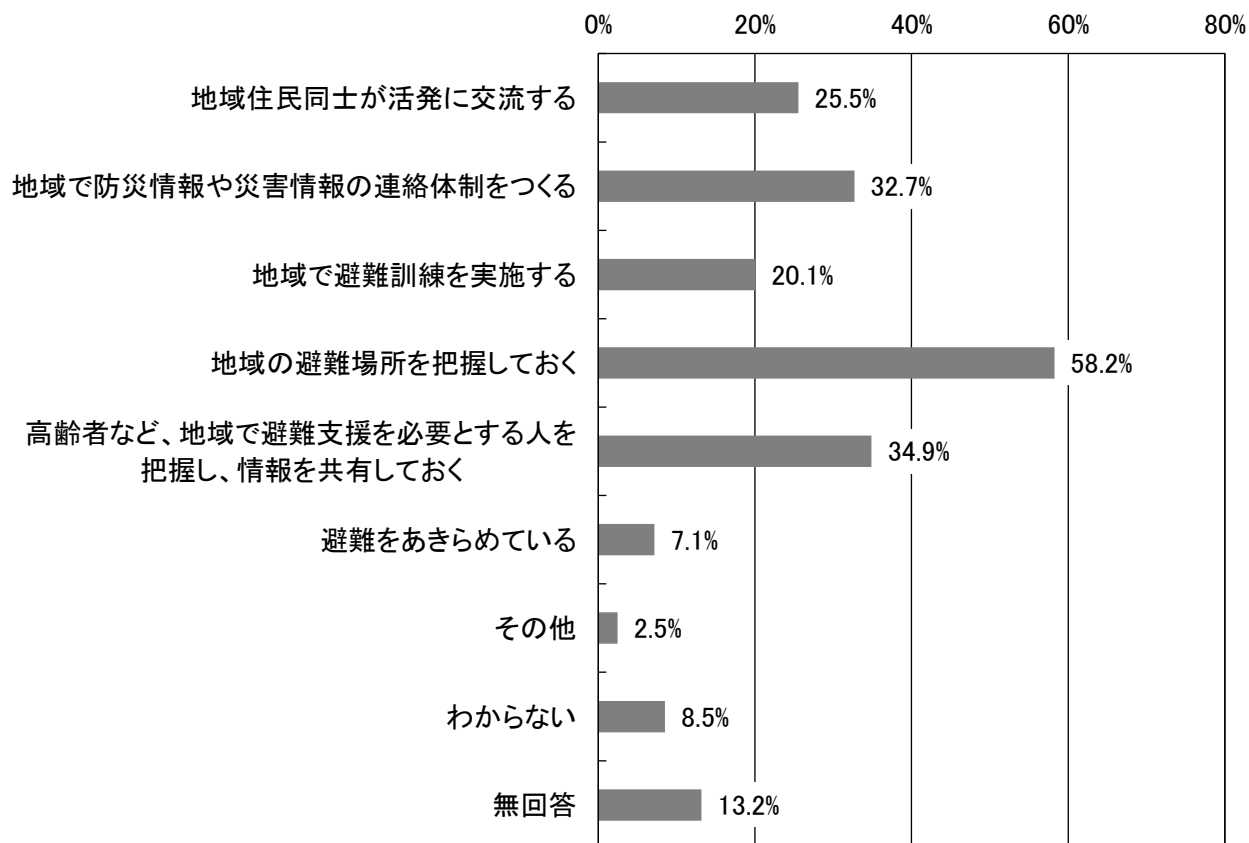
	回答数	割合
徒歩	167	45.9%
車いす	8	2.2%
自転車	65	17.9%
バイク	1	0.3%
自家用車（自分で運転）	57	15.7%
自動車（人に乗せてもらう）	105	28.8%
公共交通機関（バス、電車）	102	28.0%
ふれあい交通	0	0.0%
タクシー	135	37.1%
その他	7	1.9%
無回答	7	1.9%



災害に備えた地域ぐるみの準備とは(問 18)

災害に備えた地域ぐるみの準備については、「地域の避難場所を把握しておく」が 58.2%と最も高く、次いで、「高齢者など、地域で避難支援を必要とする人を把握し、情報を共有しておく」が 34.9%、「地域で防災情報や災害情報の連絡体制をつくる」が 32.7%となっている。

なお、「避難をあきらめている」は 7.1%、「わからない」は 8.5%となっている。



第4章 春日校区の活動計画と策定までのプロセス

(1) 目標と具体的取り組み

実態調査や話し合いから出た意見をふまえ、以下の取り組みを考えました。

春日校区社協の目標 1

校区内の課題や活動状況などについて、関係者間で共有する機会をつくろう

それぞれの役職や団体、自治会などが行っている取組や課題、好事例等を、校区社協の構成員間で共有することで、それぞれの立場での動きの参考となるのでは、という意見がありました。特に、全世代が関わる「防災」の話や、地域内の「要支援者（高齢者等）の見守り」等に関する話題について、定期的に話せる場が必要とされているようです。

活動の方向性（具体的取り組み）

- 関係者が集まる機会を活用し、各団体の活動状況の共有を行う
- 「防災」や「地域内の見守り活動に関する情報」などを共有する会議の実施
- 会議だけでなく、紙ベース（広報誌等）の有効活用

策定までのプロセス

◀「話し合い」の場が出た意見▶

～現状・課題～

- ・自治会長と民生委員が話し合う機会がなく、困りごとを共有できていない。
- ・見守りを必要とする高齢者や世帯が多く、災害時などの緊急時に不安がある。
- ・地域内の認知症高齢者への対応方法に悩むことがある。特に親族の方が近くにいない方への対応。
- ・避難所について、ほとんどの住民は仕組みや動き方などを知らない。実際に利用したとき困ることが心配される。
- ・校区内に49名の防災士がいるが、横の繋がりがなく困ったときに相談したり、情報交換を行ったりする機会がない。

～提案・対応策～

- ・自治会長と民生委員が話をする機会を持ちたい。
- ・地域内の支援が必要な方の情報などを共有できると、柔軟に動きがとれる場合がある。
- ・自治会長や民生委員、その他団体や関係機関が情報共有することで、解決に向かったり、難しい案件であっても先が見えたりすることも多い。それぞれ抱え込む必要もない。
- ・1年に1回、合同研修のような形で話し合いを行う場面をつくれると良い。
- ・校区社協の総会の中に、自治会長全員が参加するから、こういう意見交換するような時間を設けてみてはどうか。わざわざ集まらないでいいように、かしこまらずに話が出来たら良いと思う。
- ・自主防災会が把握する災害時要支援者とは別に、民生委員が訪問活動を行うなかで心配な方に、実際に避難所開設時に個別に声かけを行っている事などを情報共有した方がよいと思う。
- ・防災士さんの協議会は、それぞれの自主防災会の動きを考えたり大規模災害に備えたりする意味で大事だと思う。住民の災害に対する心構えや意識が変わると思う。
- ・防災に関する講話を市に依頼するなど、防災についての知識を高める場を持ってはどうか。
- ・子育て世帯が多く住むマンションにおいても防災訓練の必要性が高い。防災訓練に参加してもらいたい。

春日校区社協の目標 2

子育て中の世帯が参加しやすい地域活動を実施し、協力してくれる人を増やそう

地域活動を行う上で、多くの地域で人材不足や後継者不足が課題となっています。意見交換の際に、「子育て中の親と子を交えた交流を行う中でお互い顔を知ること出来れば、活動に協力してくれる人も中にはいるよ」という声がありました。地域活動を知り、参加するきっかけづくりが、継続的な地域活動のポイントなのかもしれません。

活動の方向性（具体的取り組み）

- 既存のこども対象事業（図書カード、寺子屋等）の維持・拡充
- 校区内の好事例の共有

策定までのプロセス

≪「話し合い」の場での意見≫

～現状・課題～

- ・子育て世帯が多く住むマンションの方とコミュニケーションをとることが難しい。
- ・自治会役員のなり手がいない。自治会の顔ぶれはいつも同じ方で、新しい方がいない。
- ・高齢化する一方で、若い人は入ってこない。高齢化が進み地域の行事の参加が少なくなった。
- ・若い人の活動への関心が低く、行事参加が少ない。若い人や子育て世帯との交流が少ない。
- ・子ども会の会員や役員のなり手がいない。
- ・校区社協行事では、学校やPTAを巻き込むことで今までよりも多くの方からの協力や理解を得られるようになったと感じる。

～提案・対応策～

- ・春日まつりは子育て世帯の参加も多いので続けていきたい。
- ・先輩方が頑張ってくれたおかげで、他校区にはない『寺子屋かすが』や『敬老会』などが継承されており、参加者は減ってきたが交流の機会がある。今後も繋いでいきたい。
- ・春日神社こども神輿や夏休みのラジオ体操を通して、子どもたちやその親御さんがイベントに参加され好評だった。マンション住まいの方も多く参加され交流が持てた。
- ・自治会の盆踊りには親子連れで参加してくるなど、行事があれば親も手伝ってくれる。地道な行事をこつこつとやる中で協力者を見つけたいと思う。
- ・イベント事をきっかけに、『顔見知り』そして『知り合い』と関係が繋がっていくので、あきらめずこつこつ声かけすることが大事だと思う。
- ・現状は高齢者に向けた取り組みが多いが、子どもや子育て世代への目線を持ち、子育て世帯との繋がりを増やす計画を作ってはどうか。
- ・自助互助共助の範囲で、住民同士が人間関係を作り、高齢者と若い人が協力し合える人間関係をつくるのが基本ではないかと思う。
- ・地域の役員だけが考えるトップダウンではなく、ボトムアップでの活動とならないと意味がない。他の校区の好事例なども参考にしていけると良いのではないか。

地域活動を様々な方に向けて広報し、活動参加のきっかけにしておらう

住民や各種団体に対して、それぞれの活動を知ってもらうためのツールとして広報は有効と思われます。現在、回覧板や広報誌のポストイン等で広報を実施していますが、マンションの増加や地域活動への関心の希薄化等により、ほとんど見られていない実態が把握されました。

そこで、春日校区社協の取り組みを、現状の広報の方法を継続しつつ、新たな情報発信の方法を検討します。

活動の方向性（具体的取り組み）

- チラシや広報誌を活用して戸別への働きかけを行う（こつこつ諦めない）
- 世代や目的に合わせた広報形態の検討（SNS や QR コードの利用等の検討）
- 自治会費や校区内一世帯につき 200 円頂いている社協会費を活用している旨の説明を入れることで、会の活動を知ってもらう

策定までのプロセス

《「話し合い」の場で出た意見》

～現状・課題～

- ・地域活動に参加しない人やマンションが増え、近所づきあいの薄い人や無関心な人が増えた。
- ・マンションは世帯数が多く、戸別にポストインすると時間も労力もかかる。
- ・自治会等の案内を、戸別にポストインしても無視されることが多く効果がないと感じる。
- ・子育て世帯向けの案内を回覧板で回しても、ほとんど見られていないと感じる。
- ・町内会に入らない、会費を払いたくない、という人が多くなっている。

～提案・対応策～

- ・今は仕事が忙しく地域の行事に参加しない方の中にも、いざというときは手伝ってくれそうな人はいる。だからこつこつあきらめないことが大事だと思う。
- ・元気なときは地域との関わりが遠のくが、年をとると関わりが必要になる。声かけや呼びかけを無駄と思わずこつこつ取り組むことが大事。
- ・既存の紙媒体の広報誌についても、会話形式で書くなど、読み手に伝わりやすい表現方法の工夫を考えよう。
- ・誰に向けての、何のための発信なのかを考えて、内容や形態を検討した方が良い。
- ・若い人は情報収集に SNS を利用している。これまでの校区の広報のやり方だと次の人に繋げていくことが難しいかもしれない。SNS の活用を検討しよう。
- ・市や市社協のホームページや SNS の活用も検討できないだろうか。
- ・町内会費が、校区社協や自治会のどんな事業に使われているか、明記してはどうか。
- ・地域行事に「協力して」と頼むより「一緒に楽しもう」と声をかける方が参加してくれるように思う。
- ・チラシの配布なども、公的機関等の立場からの協力があると地域住民からの信用が得られやすい。

(2) 計画策定メンバー

	団体名・所属	役職	氏名
1	春日校区社会福祉協議会	会長（王子西南町自治会長）	藤田 卓也
2	春日校区社会福祉協議会	副会長（校区民児協会長）	宮崎 さち子
3	春日校区社会福祉協議会	事務局長・地域福祉推進委員	三ヶ尻 三千子
4	春日校区社会福祉協議会	事務局次長	赤木 智子
5	春日校区社会福祉協議会	会計	佐藤 由江
6	春日校区民生委員児童委員協議会	副会長（勢家町2丁目担当）	大渡 由美子
7	春日校区民生委員児童委員協議会	勢家町1丁目担当	佐藤 久恵
8	春日校区民生委員児童委員協議会	西春日町担当	奥本 靖子
9	春日校区民生委員児童委員協議会	王子中町東（1、5、8番）担当	田口 玲子
10	春日校区民生委員児童委員協議会	王子山の手町（B）（10～29番）	武内 智恵美
11	春日校区民生委員児童委員協議会	生石1丁目、3丁目、4丁目1番、5丁目1～5番担当	木本 恵美子
12	春日校区民生委員児童委員協議会	南生石東担当	熊野 清丸
13	春日校区自治会連合会	勢家町4丁目担当	福島 邦恭
14	春日校区自治会連合会	西春日町担当	勝田 芳樹
15	春日校区自治会連合会	王子中町東担当	渡邊 英人
16	春日校区自治会連合会	王子中町西担当	永田 吉功
17	春日校区自治会連合会	南生石東担当	片田 栄雄
18	春日校区自治会連合会	浜の市担当	甲斐 勝子
19	青少年健全育成協議会	会長	岩丸 一吉
20		健康推進委員	安見 美代子
21		防災士	菅 力
22	春日校区公民館	館長	渡邊 隆文

なお、令和6年11月27日（水）に実施した、計画策定に向けた第1回目の話し合いでは春日校区内の全ての自治会長及び民生委員・児童委員にお声掛けをし、話し合いを実施しました。そして、計画の策定委員を互選により選出（3区域〔①東地区②中地区③西地区〕から自治会長及び民生委員・児童委員を各2名）しました。

(3)実施経過

開催日	内容
令和6年5月26日(日)13:00～	事務局会議
令和6年6月15日(土)10:00～	調査員説明会
令和6年6月15日(土) ～令和6年8月5日(月)	調査実施期間
令和6年9月21日(土)10:00～	実態調査結果報告(調査員向け)
令和6年9月21日(土)13:00～	事務局会議
令和6年11月27日(水)10:00～	第1回話し合い(調査結果への意見出し)
令和6年12月21日(土)10:00～	第1回話し合いでの意見や課題などのまとめを 事務局及び調査員(民生委員・児童委員)に報告
令和7年1月9日(木)10:00～	事務局会議
令和7年1月18日(土)14:00～	第2回話し合い (課題に対する取組案の検討)
令和7年2月6日(木)14:00～	第3回話し合い(活動計画の策定)
令和7年3月8日(土)13:30～	事務局会議

お忙しい中、ご協力いただきました皆様、誠にありがとうございました。

今後とも、春日校区の地域福祉の発展のために、ご協力いただきますようお願いいたします。

第5章 資料編

(1)実態調査票

あなたご自身についておうかがいします。

【問1】あなたの性別を教えてください。

- 1) 男性 2) 女性

【問2】あなたの年齢を教えてください。

- 1) 50歳未満 2) 50～59歳 3) 60～64歳 4) 65～69歳
5) 70～74歳 6) 75～79歳 7) 80～84歳 8) 85歳以上

【問3】居住形態を教えてください。

- 1) 一軒家（一戸建て）・持ち家 2) 一軒家（一戸建て）・借家
3) 集合住宅・持ち家 4) 集合住宅・借家 5) 公営住宅
6) その他（ ）

【問4】家族構成を教えてください。

- 1) ひとり暮らし 2) 夫婦のみ 3) 子どもと同居 4) 兄弟・親族と同居
5) その他（ ）

【問5】今のお住まいに住んでからの居住年数を教えてください。

- 1) 1年未満 2) 1年以上～3年未満 3) 3年以上～5年未満
4) 5年以上～10年未満 5) 10年以上～20年未満 6) 20年以上

【問6】あなたの健康状態はどうか。(〇はいくつでも)

- 1) 健康である 2) 通院している 3) 通院していないが、体調がすぐれない
4) 歩くのが不自由 5) 寝たきり状態
6) その他（ ）

日常生活についてお尋ねします。

【問7】日常生活のなかで、困ったことがあれば教えてください。(〇はいくつでも)

- 1) 炊事 2) 掃除 3) 洗濯 4) 買い物 5) ゴミ出し
6) 布団干し 7) 草とり 8) 電球の交換 9) 家具の移動
10) その他（ ）
11) 特になし

【問8】その他に、困ったことがあれば教えてください。(〇はいくつでも)

- 1) 医療や介護のこと 2) 経済的なこと 3) 地域の人とのつきあい
4) その他（ ） 5) 困っていることはない

【問9】困った時に相談する相手はいますか。(〇はいくつでも)

- 1) 家族・親族 2) 友人・知人 3) 自治会長 4) 民生委員
5) ふれあい協力者 6) 専門家（医師、地域包括支援センターなど）
7) その他（ ） 8) 相談できる人はいない

【問10】困りごとについて、自分で出来なくなったときに、ご近所の人などからお手伝いに力を借りたいと思いますか。

- 1) 誰でもいいから力を借りたい
2) ご近所などの顔見知りの人から力を借りたい
3) 顔見知りではない人から力を借りたい
4) 誰からも力を借りたくない
5) 今は分からない

日常的な外出についてお尋ねします

【問1 1】 どのような理由で外にお出かけになることが多いですか。(〇はいくつでも)

- 1) 買い物 2) 病院 3) 散歩 4) 友達と会う 5) 別居の家族や子どもと会う
6) サロンや老人会など、地域の集まり 7) 趣味 8) その他 ()

【問1 2】 お出かけの頻度はどの位ですか。

- 1) ほとんど外出しない 2) 週1回 3) 週2~4回 4) 週5回以上

【問1 3】 以下の理由のため、外出を控えることがあれば教えてください。(〇はいくつでも)

- 1) 病気、障がい 2) 足腰の痛み 3) トイレの心配 4) 気分が乗らない
5) 外での楽しみがない 6) 移動手段がない 7) その他 ()
8) 外出を控えていない

【問1 4】 外出する際の主な移動手段は何ですか。(〇はいくつでも)

- 1) 徒歩 2) 車いす 3) 自転車 4) バイク
5) 自家用車(自分で運転) 6) 自動車(人に乗せてもらう)
7) 公共交通機関(バス、電車) 8) ふれあい交通 9) タクシー
10) その他 ()

ご近所付き合いについてお尋ねします。

【問1 5】 あなたは、日頃、一番親しいご近所の人とどの程度の付き合いをしていますか。

- 1) 何か困ったときに助けてくれる人がいる 2) 困ったときに相談する人がいる
3) 互いに訪問しあう人はいる 4) 立ち話をする人はいる
5) 顔が合えばあいさつを交わす人はいる 6) ほとんど付き合いがない

【問1 6】 日常でのご近所付き合いについて、どのようにお考えですか。

- 1) 人と関わることは必要だと思うし、している
2) 人と関わることは必要だと思うが、できていない
3) あまり人と関わりたくないと思っている
4) その他 ()

【問1 7】 あなたの住んでいる地域にこれから必要だと思われる「住民同士がつながる場」とはどんな場だと思えますか。(〇はいくつでも)

- 1) 地域の人が気軽に茶のみなどで寄れる場 2) 困ったことを相談できる場
3) 高齢者が集まって運動や体操が出来る場
4) 地域のために必要なボランティア活動を考える場
5) 子どもと大人がふれあえる世代間の交流の場
6) 子育て中の親子が集える場 7) 退職後の男性が集える場
8) その他 ()

【問18】災害時に地域住民が助け合って避難するためには、日頃から地域ぐるみでどのような準備をすればよいと思いますか。(〇はいくつでも)

- 1) 地域住民同士が活発に交流する
- 2) 地域で防災情報や災害情報の連絡体制をつくる
- 3) 地域で避難訓練を実施する
- 4) 地域の避難場所を把握しておく
- 5) 高齢者など、地域で避難支援を必要とする人を把握し、情報を共有しておく
- 6) 避難をあきらめている
- 7) その他 ()
- 8) わからない

住民同士の「ふれあい活動（見守り、声かけ活動）」についてお尋ねします。

【問19】「ふれあい活動（見守り、声かけ活動）」で、感じることを教えてください。

(〇はいくつでも)

- 1) 見守られているという安心感がある
- 2) 何かあったときに相談できる相手がいるという安心感がある
- 3) 実際に困った際に助けてもらったことがある
- 4) 支援していただいて申し訳ないと思うときがある
- 5) いつも見られているのではないかと思うときがある
- 6) 役立っていると思わない
- 7) その他 ()

【問20】あなたは地域の行事や活動に協力してみたいと思いますか。

- 1) 既に協力している
- 2) 可能な範囲で協力をしてみたい
- 3) 協力したいとは思わない
- 4) その他 ()

【問21】最後に、感想や意見があればご自由にお書きください。

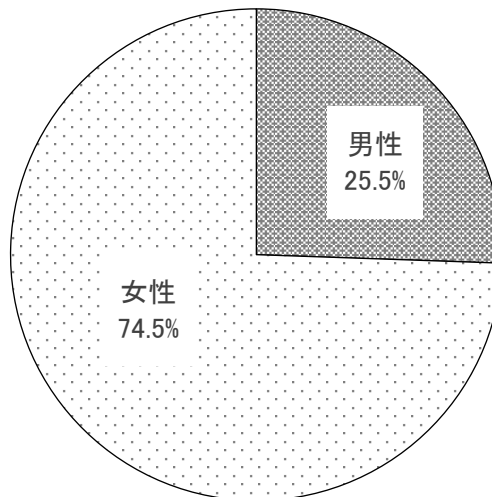
調査へご協力いただき、ありがとうございました。

(2)実態調査集計結果

問 1	あなたの性別を教えてください。
-----	-----------------

(N=364)

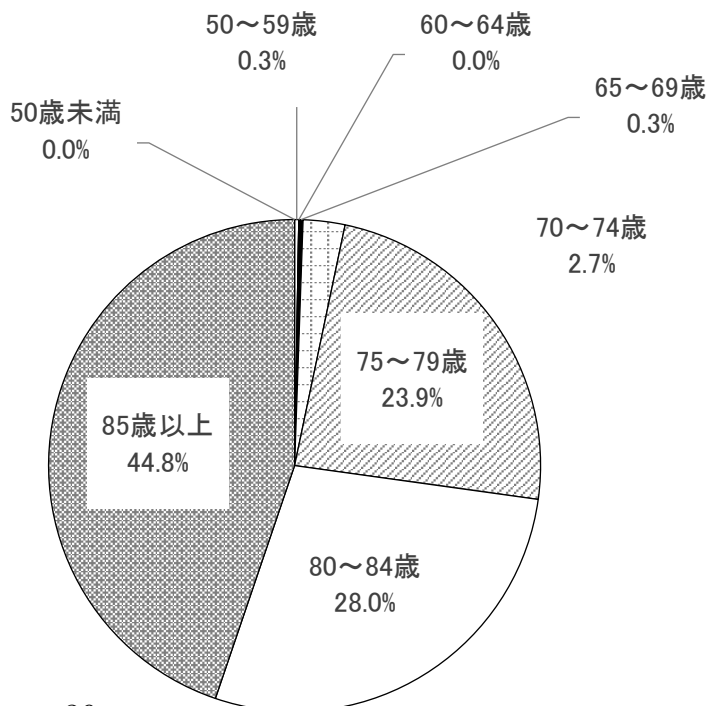
	回答数	割合
男性	93	25.5%
女性	271	74.5%



問 2	あなたの年齢を教えてください。
-----	-----------------

(N=364)

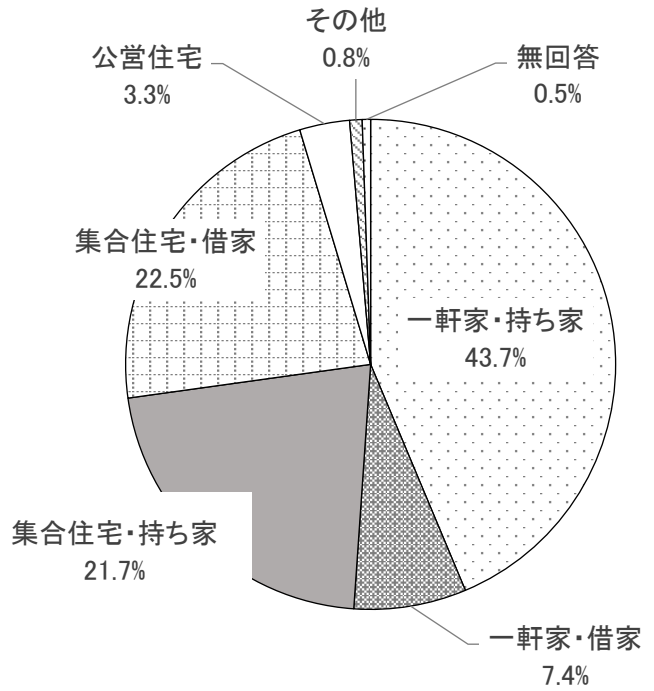
	回答数	割合
50歳未満	0	0.0%
50～59歳	1	0.3%
60～64歳	0	0.0%
65～69歳	1	0.3%
70～74歳	10	2.7%
75～79歳	87	23.9%
80～84歳	102	28.0%
85歳以上	163	44.8%
無回答	0	0.0%



問3 居住形態を教えてください。

(N=364)

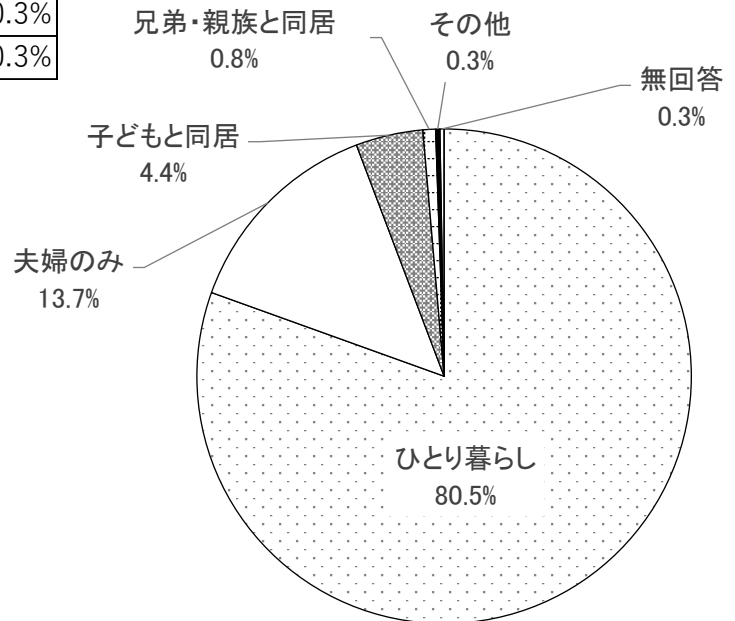
	回答数	割合
一軒家・持ち家	159	43.7%
一軒家・借家	27	7.4%
集合住宅・持ち家	79	21.7%
集合住宅・借家	82	22.5%
公営住宅	12	3.3%
その他	3	0.8%
無回答	2	0.5%



問4 家族構成を教えてください。

(N=364)

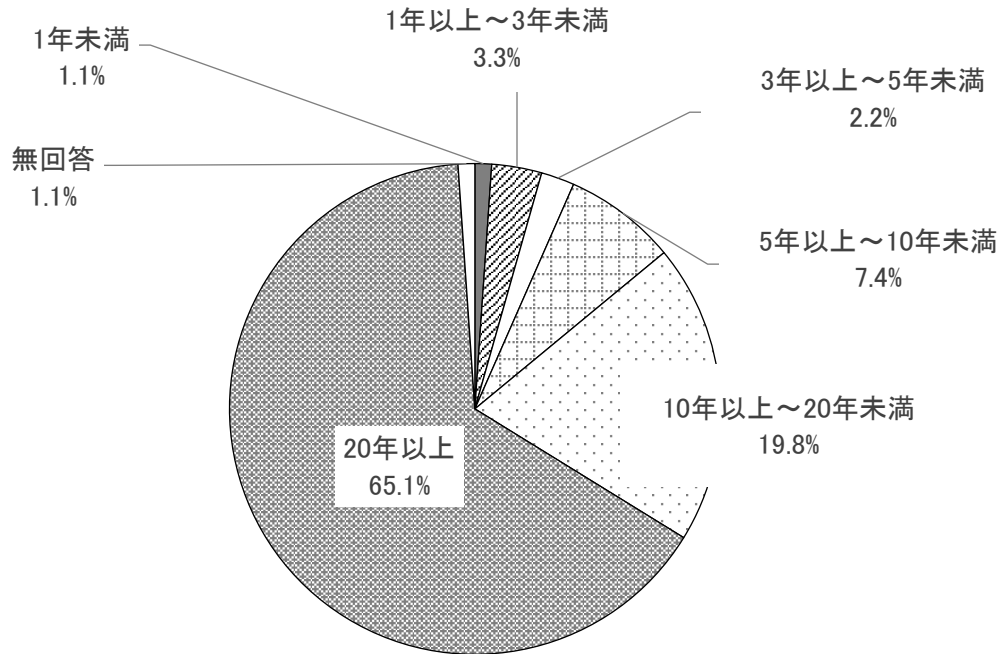
	回答数	割合
ひとり暮らし	293	80.5%
夫婦のみ	50	13.7%
子どもと同居	16	4.4%
兄弟・親族と同居	3	0.8%
その他	1	0.3%
無回答	1	0.3%



問 5 今のお住まいに住んでからの居住年数を教えてください。

(N=364)

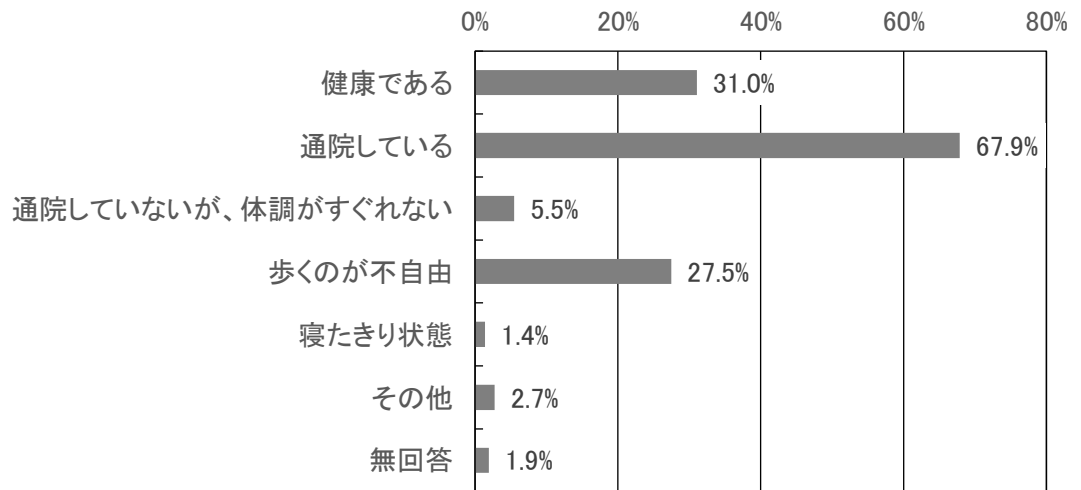
	回答数	割合
1年未満	4	1.1%
1年以上～3年未満	12	3.3%
3年以上～5年未満	8	2.2%
5年以上～10年未満	27	7.4%
10年以上～20年未満	72	19.8%
20年以上	237	65.1%
無回答	4	1.1%



問 6	あなたの健康状態はどうか。(〇はいくつでも)
-----	------------------------

(N=364)

	回答数	割合
健康である	113	31.0%
通院している	247	67.9%
通院していないが、体調がすぐれない	20	5.5%
歩くのが不自由	100	27.5%
寝たきり状態	5	1.4%
その他	10	2.7%
無回答	7	1.9%



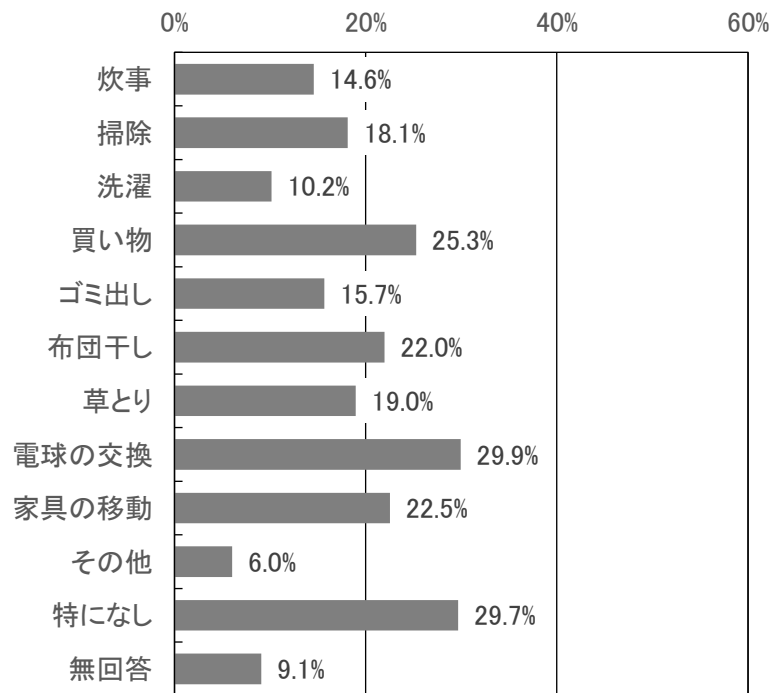
※複数回答

		サンプル数	健康である	通院している	通院していないが、 体調がすぐれない	歩くのが不自由	寝たきり状態	その他	無回答
全 体		364	31.0%	67.9%	5.5%	27.5%	1.4%	2.7%	1.9%
年 齢 別	50歳未満	0	—	—	—	—	—	—	—
	50～59歳	1	—	100.0%	—	100.0%	—	—	—
	60～64歳	0	—	—	—	—	—	—	—
	65～69歳	1	—	100.0%	—	—	—	—	—
	70～74歳	10	30.0%	60.0%	—	50.0%	—	—	—
	75～79歳	87	40.2%	73.6%	1.1%	20.7%	—	2.3%	—
	80～84歳	102	32.4%	63.7%	3.9%	23.5%	2.9%	6.9%	3.9%
	85歳以上	163	25.8%	67.5%	9.2%	31.9%	1.2%	0.6%	1.8%

問 7 日常生活のなかで、困ったことがあれば教えてください。(〇はいくつでも)

(N=364)

	回答数	割合
炊事	53	14.6%
掃除	66	18.1%
洗濯	37	10.2%
買い物	92	25.3%
ゴミ出し	57	15.7%
布団干し	80	22.0%
草とり	69	19.0%
電球の交換	109	29.9%
家具の移動	82	22.5%
その他	22	6.0%
特になし	108	29.7%
無回答	33	9.1%



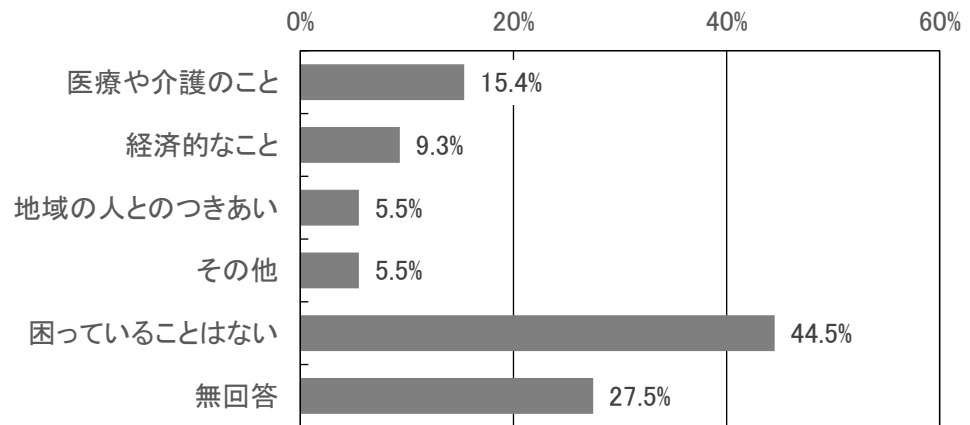
※複数回答

	サンプル数	炊事	掃除	洗濯	買い物	ゴミ出し	布団干し	草とり	電球の交換	家具の移動	その他	特になし	無回答	
全体	364	14.6%	18.1%	10.2%	25.3%	15.7%	22.0%	19.0%	29.9%	22.5%	6.0%	29.7%	9.1%	
年齢別	50歳未満	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	50～59歳	1	100.0%	-	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-	-	-	-	-	
	60～64歳	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	65～69歳	1	-	-	-	-	-	-	100.0%	100.0%	100.0%	-	-	
	70～74歳	10	-	10.0%	-	10.0%	20.0%	10.0%	10.0%	40.0%	40.0%	10.0%	30.0%	20.0%
	75～79歳	87	6.9%	9.2%	1.1%	14.9%	4.6%	11.5%	16.1%	25.3%	25.3%	2.3%	40.2%	6.9%
	80～84歳	102	18.6%	14.7%	9.8%	25.5%	16.7%	21.6%	12.7%	27.5%	17.6%	2.0%	33.3%	8.8%
	85歳以上	163	16.6%	25.8%	15.3%	31.3%	20.2%	28.2%	24.5%	33.1%	22.7%	10.4%	22.1%	9.8%

問 8 その他に、困ったことがあれば教えてください。(〇はいくつでも)

(N=364)

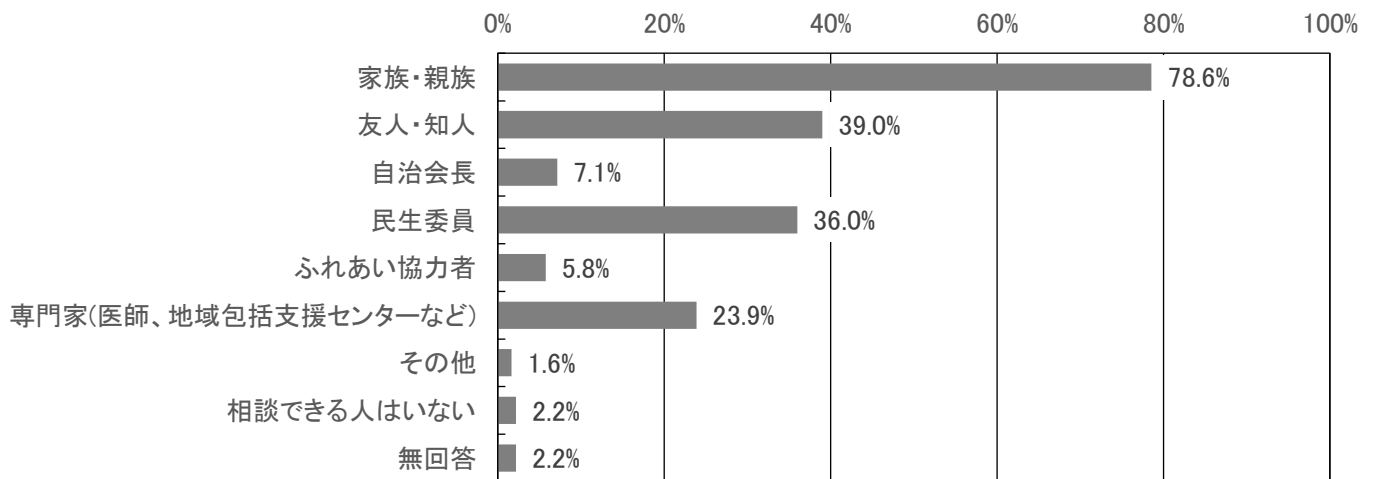
	回答数	割合
医療や介護のこと	56	15.4%
経済的なこと	34	9.3%
地域の人とのつきあい	20	5.5%
その他	20	5.5%
困っていることはない	162	44.5%
無回答	100	27.5%



問 9	困った時に相談する相手はいますか。(〇はいくつでも)
-----	----------------------------

(N=364)

	回答数	割合
家族・親族	286	78.6%
友人・知人	142	39.0%
自治会長	26	7.1%
民生委員	131	36.0%
ふれあい協力者	21	5.8%
専門家(医師、地域包括支援センターなど)	87	23.9%
その他	6	1.6%
相談できる人はいない	8	2.2%
無回答	8	2.2%



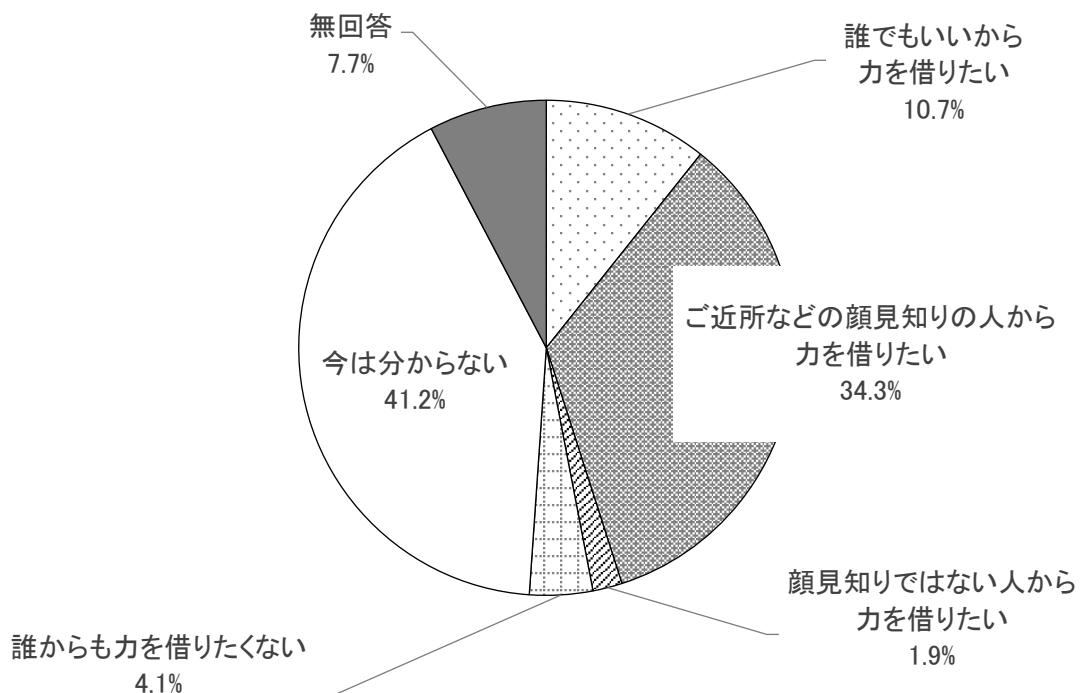
※複数回数

		サンプル数	家族・親族	友人・知人	自治会長	民生委員	ふれあい協力者	専門家(医師、地域包括支援センターなど)	その他	相談できる人はいない	無回答
全 体		364	78.6%	39.0%	7.1%	36.0%	5.8%	23.9%	1.6%	2.2%	2.2%
性 別	男性	93	66.7%	29.0%	5.4%	30.1%	4.3%	21.5%	2.2%	2.2%	3.2%
	女性	271	82.7%	42.4%	7.7%	38.0%	6.3%	24.7%	1.5%	2.2%	1.8%

問 10	困りごとについて、自分で出来なくなったときに、ご近所の人などからお手伝いに力を借りたいと思いますか。
------	--

(N=364)

	回答数	割合
誰でもいいから力を借りたい	39	10.7%
ご近所などの顔見知りの人から力を借りたい	125	34.3%
顔見知りではない人から力を借りたい	7	1.9%
誰からも力を借りたくない	15	4.1%
今は分からない	150	41.2%
無回答	28	7.7%

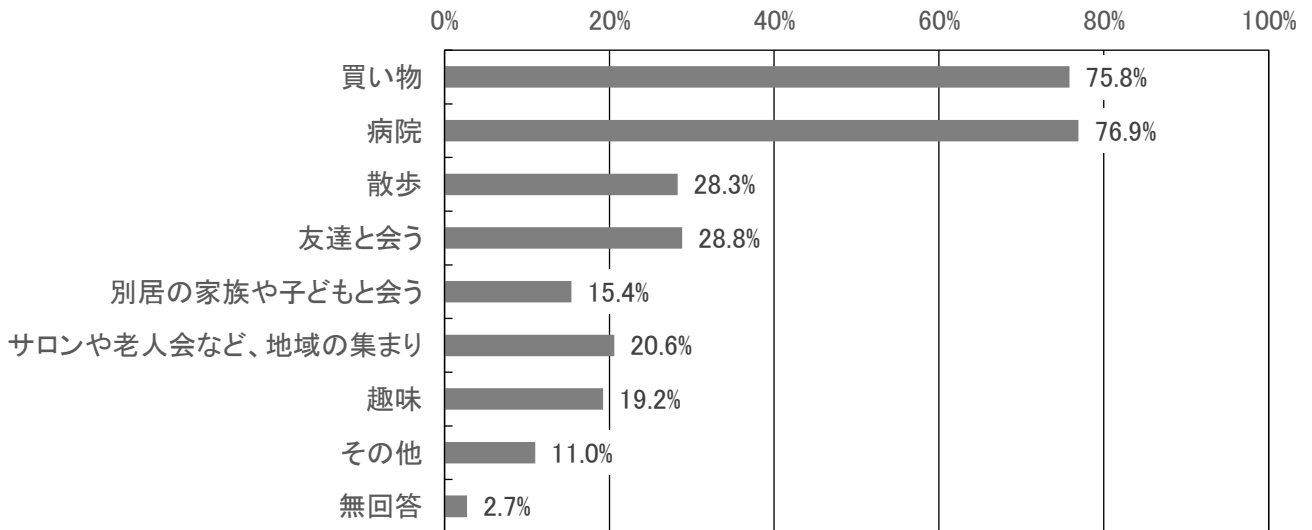


		サンプル数	誰でもいいから力を借りたい	ご近所などの顔見知りの人から力を借りたい	顔見知りではない人から力を借りたい	誰からも力を借りたくない	今は分からない	無回答
全 体		364	10.7%	34.3%	1.9%	4.1%	41.2%	7.7%
性 別	男性	93	8.6%	29.0%	2.2%	9.7%	41.9%	8.6%
	女性	271	11.4%	36.2%	1.8%	2.2%	41.0%	7.4%

問 11	どのような理由で外にお出かけになることが多いですか。(〇はいくつでも)
------	-------------------------------------

(N=364)

	回答数	割合
買い物	276	75.8%
病院	280	76.9%
散歩	103	28.3%
友達と会う	105	28.8%
別居の家族や子どもと会う	56	15.4%
サロンや老人会など、地域の集まり	75	20.6%
趣味	70	19.2%
その他	40	11.0%
無回答	10	2.7%



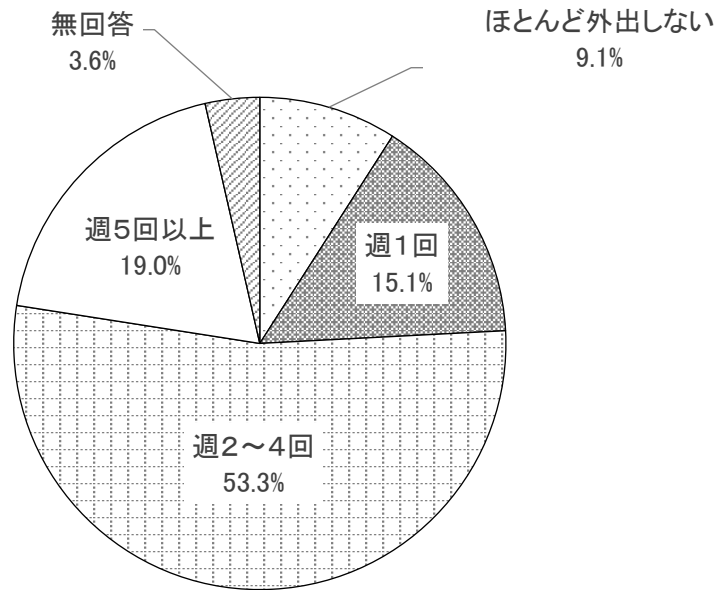
※複数回答

		サンプル数	買い物	病院	散歩	友達と会う	別居の家族や子どもと会う	サロンや老人会など、地域の集まり	趣味	その他	無回答
全体		364	75.8%	76.9%	28.3%	28.8%	15.4%	20.6%	19.2%	11.0%	2.7%
性別	男性	93	76.3%	74.2%	24.7%	15.1%	6.5%	4.3%	16.1%	8.6%	2.2%
	女性	271	75.6%	77.9%	29.5%	33.6%	18.5%	26.2%	20.3%	11.8%	3.0%
年齢別	50歳未満	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	50～59歳	1	100.0%	100.0%	-	-	-	-	-	100.0%	-
	60～64歳	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	65～69歳	1	100.0%	100.0%	-	100.0%	-	-	-	-	-
	70～74歳	10	100.0%	80.0%	40.0%	20.0%	10.0%	-	10.0%	10.0%	-
	75～79歳	87	87.4%	73.6%	35.6%	42.5%	16.1%	20.7%	27.6%	13.8%	1.1%
	80～84歳	102	76.5%	79.4%	26.5%	26.5%	18.6%	19.6%	15.7%	7.8%	2.9%
	85歳以上	163	67.5%	76.7%	25.2%	23.3%	13.5%	22.7%	17.8%	11.0%	3.7%

問 12	お出かけの頻度はどの位ですか。
------	-----------------

(N=364)

	回答数	割合
ほとんど外出しない	33	9.1%
週 1 回	55	15.1%
週 2 ～ 4 回	194	53.3%
週 5 回以上	69	19.0%
無回答	13	3.6%

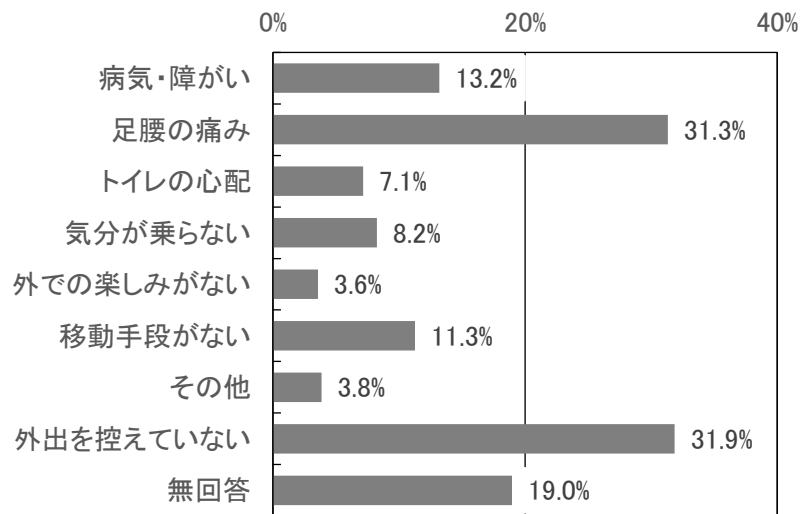


	サンプル数	ほとんど外出しない	週 1 回	週 2 ～ 4 回	週 5 回以上	無回答
全 体	364	9.1%	15.1%	53.3%	19.0%	3.6%
性別	男性	8.6%	19.4%	40.9%	29.0%	2.2%
	女性	9.2%	13.7%	57.6%	15.5%	4.1%

問 13 以下の理由のため、外出を控えることがあれば教えてください。(○はいくつでも)

(N=364)

	回答数	割合
病気・障がい	48	13.2%
足腰の痛み	114	31.3%
トイレの心配	26	7.1%
気分が乗らない	30	8.2%
外での楽しみがない	13	3.6%
移動手段がない	41	11.3%
その他	14	3.8%
外出を控えていない	116	31.9%
無回答	69	19.0%



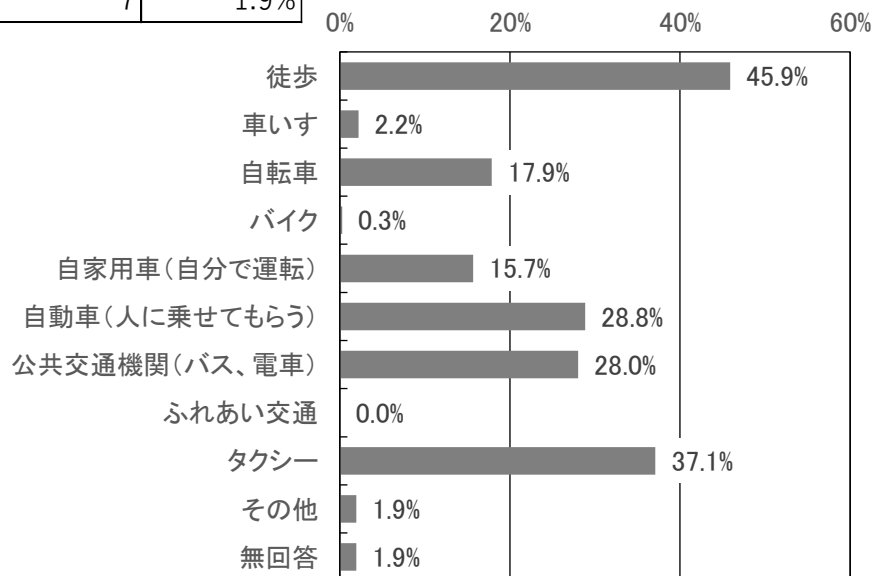
※複数回答

		サンプル数	病気、障がい	足腰の痛み	トイレの心配	気分が乗らない	外での楽しみがない	移動手段がない	その他	外出を控えていない	無回答
全 体		364	13.2%	31.3%	7.1%	8.2%	3.6%	11.3%	3.8%	31.9%	19.0%
年 齢 別	50歳未満	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	50～59歳	1	100%	—	100%	—	—	—	—	—	—
	60～64歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	65～69歳	1	—	100%	—	—	—	—	—	—	—
	70～74歳	10	40.0%	20.0%	20.0%	10.0%	10.0%	—	10.0%	10.0%	40.0%
	75～79歳	87	8.0%	29.9%	3.4%	9.2%	3.4%	8.0%	2.3%	46.0%	12.6%
	80～84歳	102	9.8%	28.4%	5.9%	10.8%	2.0%	5.9%	2.0%	35.3%	22.5%
	85歳以上	163	16.0%	34.4%	8.6%	6.1%	4.3%	17.2%	5.5%	23.9%	19.0%

問 14 外出する際の主な移動手段は何ですか。(〇はいくつでも)

(N=364)

	回答数	割合
徒歩	167	45.9%
車いす	8	2.2%
自転車	65	17.9%
バイク	1	0.3%
自家用車(自分で運転)	57	15.7%
自動車(人に乗せてもらう)	105	28.8%
公共交通機関(バス、電車)	102	28.0%
ふれあい交通	0	0.0%
タクシー	135	37.1%
その他	7	1.9%
無回答	7	1.9%



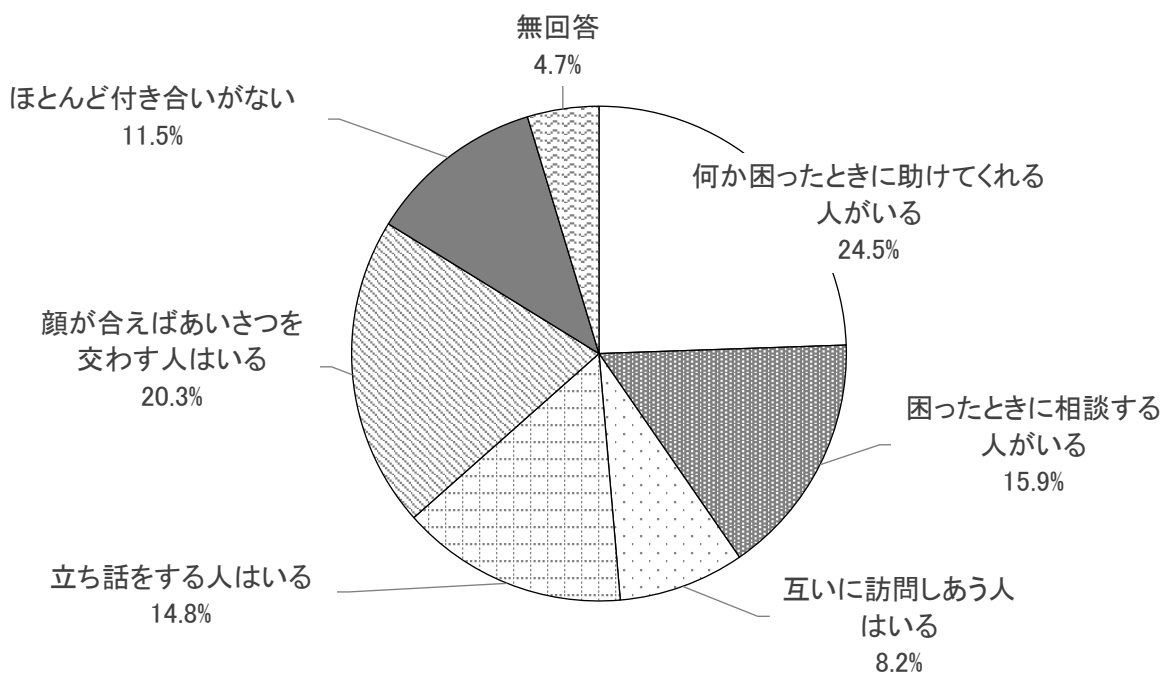
※複数回答

	サンプル数	徒歩	車いす	自転車	バイク	自家用車 (自分で運転)	自動車 (人に乗せてもらう)	公共交通機関 (バス、電車)	ふれあい交通	タクシー	その他	無回答	
全体	364	45.9%	2.2%	17.9%	0.3%	15.7%	28.8%	28.0%	-	37.1%	1.9%	1.9%	
年齢別	50歳未満	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	50~59歳	1	-	100.0%	-	-	100.0%	-	-	-	-	-	
	60~64歳	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	65~69歳	1	-	-	100.0%	-	-	100.0%	-	-	-	-	
	70~74歳	10	40.0%	-	30.0%	-	50.0%	10.0%	-	-	10.0%	10.0%	
	75~79歳	87	52.9%	1.1%	27.6%	-	34.5%	21.8%	29.9%	-	31.0%	-	1.1%
	80~84歳	102	52.9%	2.0%	24.5%	1.0%	13.7%	27.5%	36.3%	-	31.4%	-	1.0%
	85歳以上	163	38.7%	2.5%	7.4%	-	4.9%	33.7%	23.9%	-	45.4%	3.7%	3.1%

問 15 あなたは、日頃、一番親しいご近所の人とどの程度の付き合いをしていますか。

(N=364)

	回答数	割合
何か困ったときに助けてくれる人がいる	89	24.5%
困ったときに相談する人がいる	58	15.9%
互いに訪問しあう人はいる	30	8.2%
立ち話をする人はいる	54	14.8%
顔が合えばあいさつを交わす人はいる	74	20.3%
ほとんど付き合いがない	42	11.5%
無回答	17	4.7%

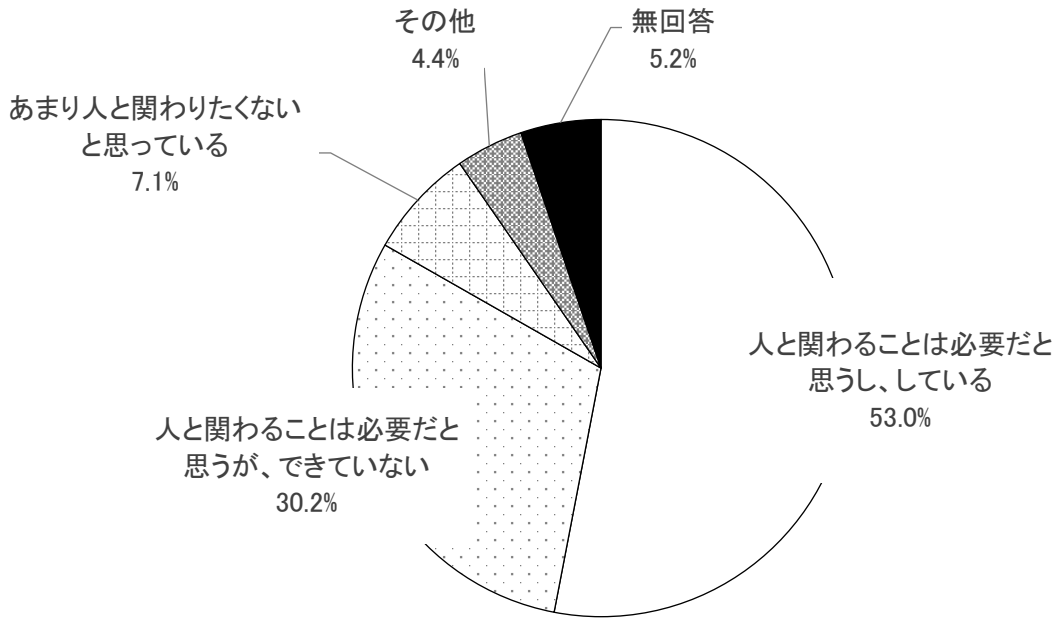


		サンプル数	何か困ったときに助けてくれる人がいる	困ったときに相談する人がいる	互いに訪問しあう人はいる	立ち話をする人はいる	顔が合えばあいさつを交わす人はいる	ほとんど付き合いがない	無回答
全体		364	24.5%	15.9%	8.2%	14.8%	20.3%	11.5%	4.7%
性別	男性	93	23.7%	9.7%	5.4%	12.9%	23.7%	17.2%	7.5%
	女性	271	24.7%	18.1%	9.2%	15.5%	19.2%	9.6%	3.7%

問 16	日常でのご近所付き合いについて、どのようにお考えですか。
------	------------------------------

(N=364)

	回答数	割合
人と関わることは必要だと思うし、している	193	53.0%
人と関わることは必要だと思うが、できていない	110	30.2%
あまり人と関わりたくないと思っている	26	7.1%
その他	16	4.4%
無回答	19	5.2%

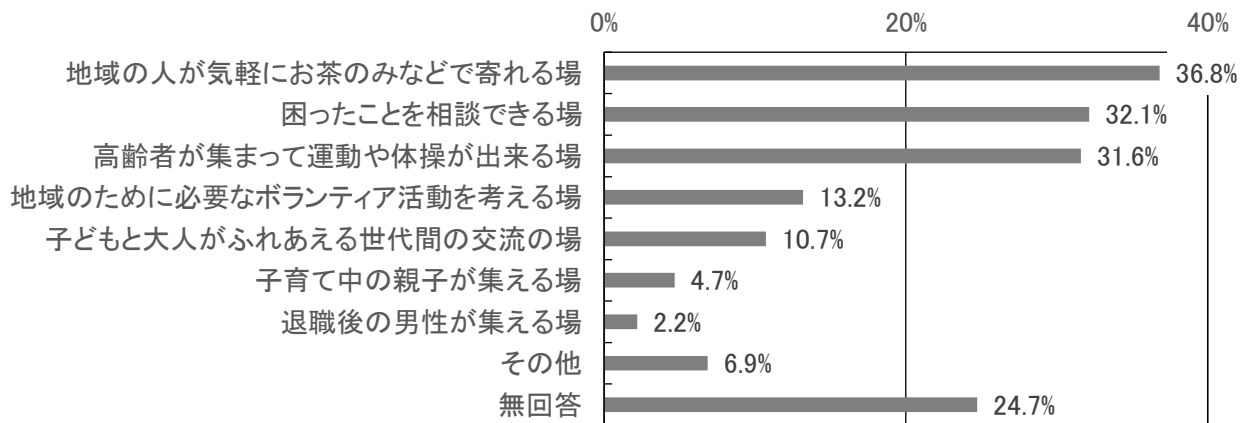


		サンプル数	人と関わることは必要だと思うし、している	人と関わることは必要だと思うが、できていない	あまり人と関わりたくないと思っている	その他	無回答
全体		364	53.0%	30.2%	7.1%	4.4%	5.2%
性別	男性	93	38.7%	38.7%	11.8%	4.3%	6.5%
	女性	271	57.9%	27.3%	5.5%	4.4%	4.8%

問 17	あなたの住んでいる地域にこれから必要だと思われる「住民同士がつながる場」とはどんな場だと思いますか。(〇はいくつでも)
------	---

(N=364)

	回答数	割合
地域の人が気軽に お茶のみなどで寄れる場	134	36.8%
困ったことを相談できる場	117	32.1%
高齢者が集まって運動や体操が出来る場	115	31.6%
地域のために必要なボランティア活動を考える場	48	13.2%
子どもと大人がふれあえる世代間の交流の場	39	10.7%
子育て中の親子が集える場	17	4.7%
退職後の男性が集える場	8	2.2%
その他	25	6.9%
無回答	90	24.7%



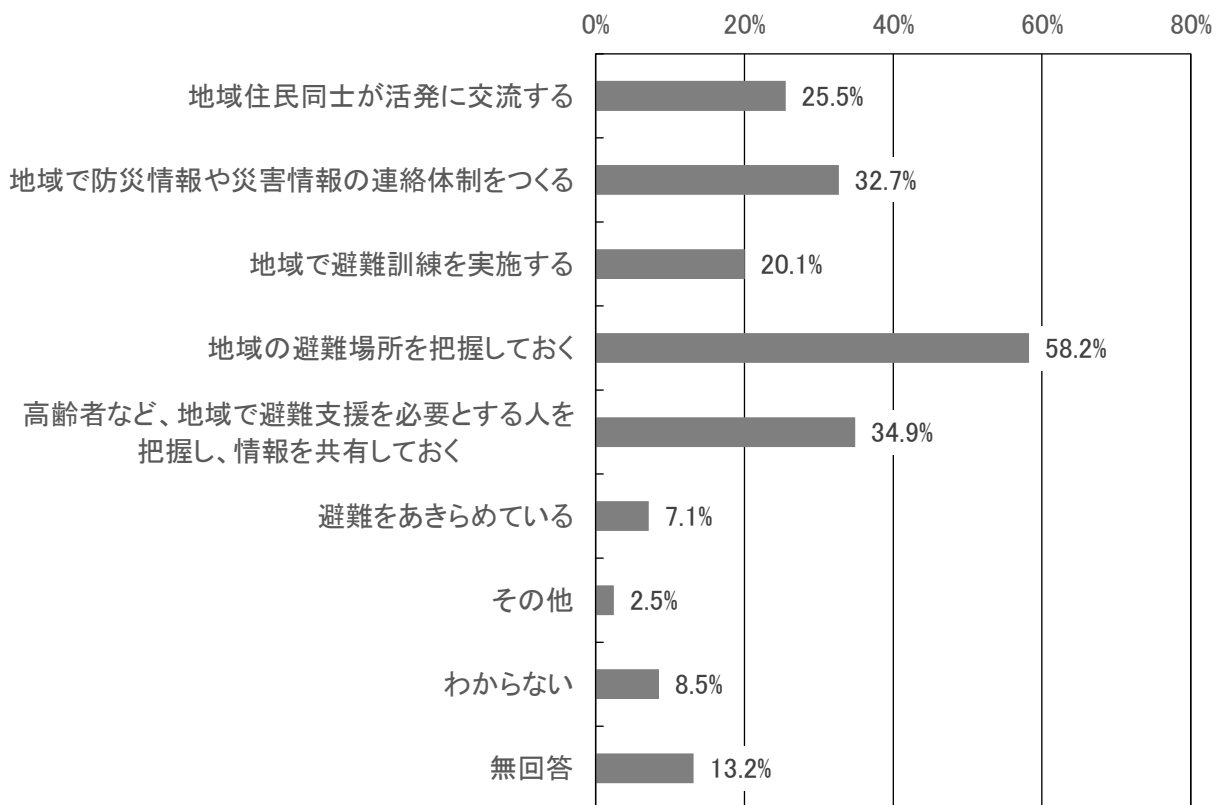
※複数回答

	サンプル数	地域の人が気軽に お茶のみなどで寄れる場	困ったことを相談できる場	高齢者が集まって運動や体操が出来る場	地域のために必要なボランティア活動を考える場	世代間の交流の場	子育て中の親子が集える場	退職後の男性が集える場	その他	無回答	
全体	364	36.8%	32.1%	31.6%	13.2%	10.7%	4.7%	2.2%	6.9%	24.7%	
性別	男性	93	25.8%	38.7%	21.5%	11.8%	6.5%	3.2%	5.4%	30.1%	
	女性	271	40.6%	29.9%	35.1%	13.7%	12.2%	5.2%	7.4%	22.9%	
年齢別	50歳未満	0	—	—	—	—	—	—	—	—	
	50～59歳	1	—	—	—	—	—	—	—	100.0%	
	60～64歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—	
	65～69歳	1	—	100.0%	—	—	—	—	—	—	
	70～74歳	10	60.0%	50.0%	10.0%	20.0%	—	—	10.0%	30.0%	
	75～79歳	87	41.4%	25.3%	41.4%	18.4%	14.9%	8.0%	3.4%	5.7%	24.1%
	80～84歳	102	34.3%	27.5%	25.5%	9.8%	7.8%	2.9%	2.9%	8.8%	26.5%
85歳以上	163	35.0%	37.4%	31.9%	12.3%	11.0%	4.3%	1.2%	6.1%	23.3%	

問 18	災害時に地域住民が助け合って避難するためには、日頃から地域ぐるみでどのような準備をすればよいと思いますか。(〇はいくつでも)
------	--

(N=364)

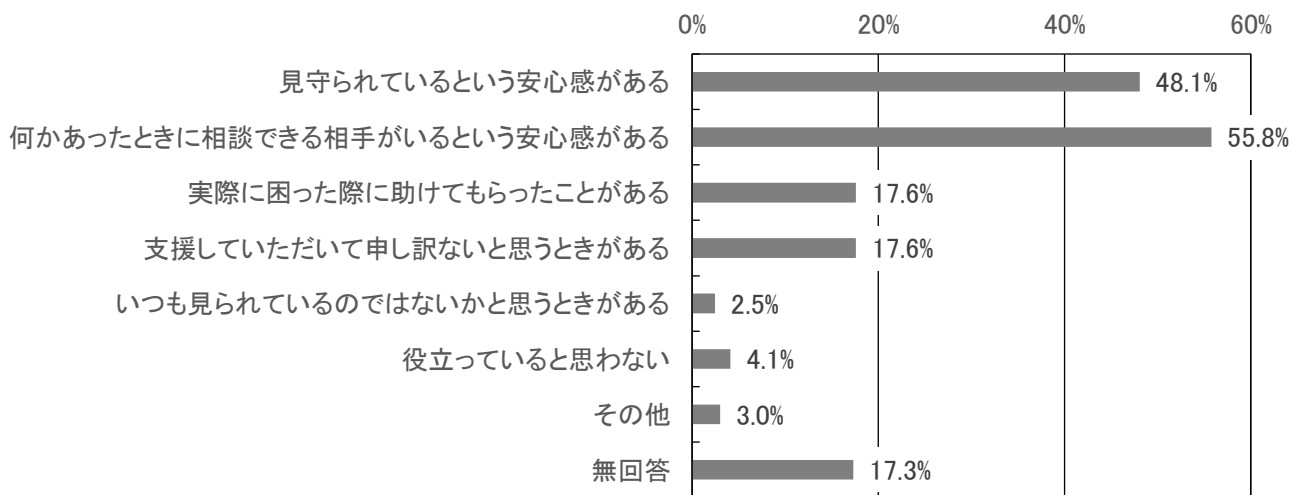
	回答数	割合
地域住民同士が活発に交流する	93	25.5%
地域で防災情報や災害情報の連絡体制をつくる	119	32.7%
地域で避難訓練を実施する	73	20.1%
地域の避難場所を把握しておく	212	58.2%
高齢者など、地域で避難支援を必要とする人を把握し、情報を共有しておく	127	34.9%
避難をあきらめている	26	7.1%
その他	9	2.5%
わからない	31	8.5%
無回答	48	13.2%



問 19 「ふれあい活動(見守り、声かけ活動)」で、感じることを教えてください。(〇はいくつでも)

(N=364)

	回答数	割合
見守られているという安心感がある	175	48.1%
何かあったときに相談できる相手がいるという安心感がある	203	55.8%
実際に困った際に助けてもらったことがある	64	17.6%
支援していただいて申し訳ないと思うときがある	64	17.6%
いつも見られているのではないかと思うときがある	9	2.5%
役立っていると思わない	15	4.1%
その他	11	3.0%
無回答	63	17.3%



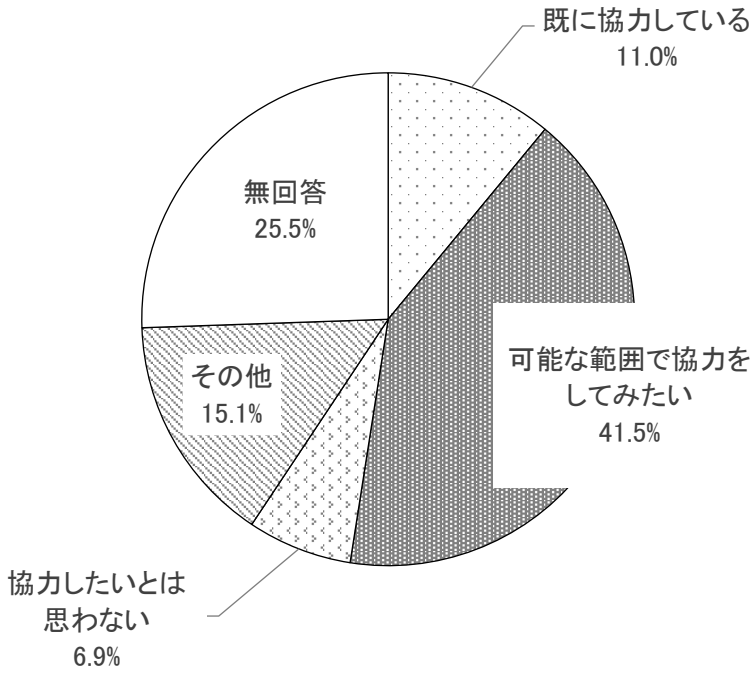
※複数回答

	サンプル数	見守られているという安心感がある	何かあったときに相談できる相手がいるという安心感がある	実際に困った際に助けてもらったことがある	支援していただいて申し訳ないと思うときがある	いつも見られているのではないかと思うときがある	役立っていると思わない	その他	無回答	
全体	364	48.1%	55.8%	17.6%	17.6%	2.5%	4.1%	3.0%	17.3%	
年齢別	50歳未満	0	-	-	-	-	-	-	-	
	50～59歳	1	-	-	-	-	-	-	100.0%	
	60～64歳	0	-	-	-	-	-	-	-	
	65～69歳	1	-	100.0%	-	-	-	-	-	
	70～74歳	10	50.0%	50.0%	20.0%	-	-	-	30.0%	
	75～79歳	87	42.5%	55.2%	11.5%	12.6%	1.1%	3.4%	3.4%	24.1%
	80～84歳	102	49.0%	49.0%	14.7%	16.7%	2.0%	4.9%	2.0%	15.7%
	85歳以上	163	50.9%	60.7%	22.7%	22.1%	3.7%	4.3%	3.7%	13.5%

問 20	あなたは地域の行事や活動に協力してみたいと思いますか。
------	-----------------------------

(N=364)

	回答数	割合
既に協力している	40	11.0%
可能な範囲で協力をしてみたい	151	41.5%
協力したいとは思わない	25	6.9%
その他	55	15.1%
無回答	93	25.5%



(3) 地区別実態調査集計結果

東地区：勢家町1丁目～4丁目、東春日町、西春日町、中春日町、南春日町

中地区：王子北町、王子西町、王子西南町、王子中町東、王子中町西、王子町、王子新町、王子山の手町

西地区：東生石、西生石、南生石東、南生石西、浜の市、生石港町

【調査の概要】

	東地区	中地区	西地区
ふれあい対象者数	182	147	60
回答者数	174	136	54
回答率	96%	93%	90%

【問1】 あなたの性別を教えてください。

	東地区		中地区		西地区	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
男性	51	29.3%	25	18.4%	17	31.5%
女性	123	70.7%	111	81.6%	37	68.5%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

【問2】 あなたの年齢を教えてください。

	東地区		中地区		西地区	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
50歳未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
50～59歳	0	0.0%	1	0.7%	0	0.0%
60～64歳	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
65～69歳	1	0.6%	0	0.0%	0	0.0%
70～74歳	7	4.0%	1	0.7%	2	3.7%
75～79歳	42	24.1%	36	26.5%	9	16.7%
80～84歳	50	28.7%	39	28.7%	13	24.1%
85歳以上	74	42.5%	59	43.4%	30	55.6%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

【問3】 居住形態を教えてください。

	東地区		中地区		西地区	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
一軒家・持ち家	63	36.2%	63	46.3%	33	61.1%
一軒家・借家	14	8.0%	10	7.4%	3	5.6%
集合住宅・持ち家	53	30.5%	22	16.2%	4	7.4%
集合住宅・借家	42	24.1%	28	20.6%	12	22.2%
公営住宅	1	0.6%	12	8.8%	1	1.9%
その他	1	0.6%	1	0.7%	1	1.9%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

【問4】 家族構成を教えてください。

	東地区		中地区		西地区	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
ひとり暮らし	139	79.9%	115	84.6%	39	72.2%
夫婦のみ	27	15.5%	14	10.3%	9	16.7%
子どもと同居	5	2.9%	6	4.4%	5	9.3%
兄弟・親族と同居	2	1.1%	1	0.7%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	1	1.9%
無回答	1	0.6%	0	0.0%	0	0.0%

【問5】 今のお住まいに住んでからの居住年数を教えてください。

	東地区		中地区		西地区	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1年未満	2	1.1%	1	0.7%	1	1.9%
1年以上～3年未満	4	2.3%	6	4.4%	2	3.7%
3年以上～5年未満	4	2.3%	3	2.2%	1	1.9%
5年以上～10年未満	13	7.5%	11	8.1%	3	5.6%
10年以上～20年未満	37	21.3%	26	19.1%	9	16.7%
20年以上	113	64.9%	86	63.2%	38	70.4%
無回答	1	0.6%	3	2.2%	0	0.0%

【問6】あなたの健康状態はどうか。（複数回答）

	東地区		中地区		西地区	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
健康である	51	29.3%	47	34.6%	15	27.8%
通院している	121	69.5%	92	67.6%	34	63.0%
通院していないが、 体調がすぐれない	9	5.2%	6	4.4%	5	9.3%
歩くのが不自由	46	26.4%	39	28.7%	15	27.8%
寝たきり状態	2	1.1%	3	2.2%	0	0.0%
その他	6	3.4%	4	2.9%	0	0.0%
無回答	2	1.1%	3	2.2%	2	3.7%

【問7】日常生活のなかで、困ったことがあれば教えてください。（複数回答）

	東地区		中地区		西地区	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
炊事	28	16.1%	17	12.5%	8	14.8%
掃除	32	18.4%	24	17.6%	10	18.5%
洗濯	18	10.3%	13	9.6%	6	11.1%
買い物	39	22.4%	35	25.7%	18	33.3%
ゴミ出し	24	13.8%	21	15.4%	12	22.2%
布団干し	38	21.8%	26	19.1%	16	29.6%
草とり	32	18.4%	25	18.4%	12	22.2%
電球の交換	56	32.2%	38	27.9%	15	27.8%
家具の移動	40	23.0%	28	20.6%	14	25.9%
その他	13	7.5%	8	5.9%	1	1.9%
特になし	55	31.6%	43	31.6%	10	18.5%
無回答	15	8.6%	10	7.4%	8	14.8%

【問8】その他に、困ったことがあれば教えてください。（複数回答）

	東地区		中地区		西地区	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
医療や介護のこと	27	15.5%	21	15.4%	8	14.8%
経済的なこと	19	10.9%	8	5.9%	7	13.0%
地域の人とのつきあい	9	5.2%	8	5.9%	3	5.6%
その他	12	6.9%	7	5.1%	1	1.9%
困っていることはない	74	42.5%	62	45.6%	26	48.1%
無回答	49	28.2%	38	27.9%	13	24.1%

【問9】 困った時に相談する相手はいますか。（複数回答）

	東地区		中地区		西地区	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
家族・親族	132	75.9%	110	80.9%	44	81.5%
友人・知人	61	35.1%	61	44.9%	20	37.0%
自治会長	12	6.9%	8	5.9%	6	11.1%
民生委員	53	30.5%	59	43.4%	19	35.2%
ふれあい協力者	12	6.9%	6	4.4%	3	5.6%
専門家（医師、地域包括 支援センターなど）	40	23.0%	38	27.9%	9	16.7%
その他	2	1.1%	3	2.2%	1	1.9%
相談できる人はいない	6	3.4%	0	0.0%	2	3.7%
無回答	5	2.9%	3	2.2%		0.0%

【問10】 困りごとについて、自分で出来なくなったときに、
ご近所の人などからお手伝いに力を借りたいと思いますか。

	東地区		中地区		西地区	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
誰でもいいから力を借りたい	10	5.7%	23	16.9%	6	11.1%
ご近所などの顔見知りの 人から力を借りたい	61	35.1%	40	29.4%	24	44.4%
顔見知りではない人から 力を借りたい	4	2.3%	3	2.2%	0	0.0%
誰からも力を借りたくない	8	4.6%	6	4.4%	1	1.9%
今は分からない	80	46.0%	52	38.2%	18	33.3%
無回答	11	6.3%	12	8.8%	5	9.3%

【問11】 どのような理由で外にお出かけになることが多いですか。（複数回答）

	東地区		中地区		西地区	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
買い物	141	81.0%	92	67.6%	43	79.6%
病院	133	76.4%	103	75.7%	44	81.5%
散歩	45	25.9%	45	33.1%	13	24.1%
友達と会う	45	25.9%	40	29.4%	20	37.0%
別居の家族や子どもと会う	18	10.3%	25	18.4%	13	24.1%
サロンや老人会など、 地域の集まり	30	17.2%	36	26.5%	9	16.7%
趣味	38	21.8%	24	17.6%	8	14.8%
その他	18	10.3%	18	13.2%	4	7.4%
無回答	1	0.6%	9	6.6%	0	0.0%

【問12】 お出かけの頻度はどの位ですか。

	東地区		中地区		西地区	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
ほとんど外出しない	16	9.2%	13	9.6%	4	7.4%
週1回	21	12.1%	22	16.2%	12	22.2%
週2～4回	100	57.5%	71	52.2%	23	42.6%
週5回以上	35	20.1%	25	18.4%	9	16.7%
無回答	2	1.1%	5	3.7%	6	11.1%

【問13】 以下の理由のため、外出を控えることがあれば教えてください。（複数回答）

	東地区		中地区		西地区	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
病気、障がい	26	14.9%	16	11.8%	6	11.1%
足腰の痛み	62	35.6%	36	26.5%	16	29.6%
トイレの心配	16	9.2%	8	5.9%	2	3.7%
気分が乗らない	16	9.2%	7	5.1%	7	13.0%
外での楽しみがない	8	4.6%	2	1.5%	3	5.6%
移動手段がない	16	9.2%	18	13.2%	7	13.0%
その他	6	3.4%	6	4.4%	2	3.7%
外出を控えていない	53	30.5%	47	34.6%	16	29.6%
無回答	27	15.5%	30	22.1%	12	22.2%

【問14】 外出する際の主な移動手段は何ですか。（複数回答）

	東地区		中地区		西地区	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
徒歩	82	47.1%	65	47.8%	20	37.0%
車いす	2	1.1%	5	3.7%	1	1.9%
自転車	37	21.3%	20	14.7%	8	14.8%
バイク	1	0.6%	0	0.0%	0	0.0%
自家用車（自分で運転）	28	16.1%	22	16.2%	7	13.0%
自動車（人に乗せてもらう）	45	25.9%	40	29.4%	20	37.0%
公共交通機関（バス、電車）	38	21.8%	46	33.8%	18	33.3%
ふれあい交通	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
タクシー	61	35.1%	51	37.5%	23	42.6%
その他	4	2.3%	2	1.5%	1	1.9%
無回答	0	0.0%	5	3.7%	2	3.7%

【問15】 あなたは、日頃、一番親しいご近所の人とどの程度の付き合いをしていますか。

	東地区		中地区		西地区	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
何か困ったときに 助けてくれる人がいる	38	21.8%	35	25.7%	16	29.6%
困ったときに 相談する人がいる	30	17.2%	21	15.4%	7	13.0%
互いに訪問しあう人はいる	13	7.5%	8	5.9%	9	16.7%
立ち話をする人はいる	27	15.5%	17	12.5%	10	18.5%
顔が合えばあいさつを 交わす人はいる	44	25.3%	27	19.9%	3	5.6%
ほとんど付き合いがない	16	9.2%	19	14.0%	7	13.0%
無回答	6	3.4%	9	6.6%	2	3.7%

【問16】 日常でのご近所付き合いについて、どのようにお考えですか。

	東地区		中地区		西地区	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
人と関わることは必要だと思し、している	88	50.6%	69	50.7%	36	66.7%
人と関わることは必要だと思うが、できていない	57	32.8%	41	30.1%	12	22.2%
あまり人と関わりたくないと 思っている	13	7.5%	10	7.4%	3	5.6%
その他	8	4.6%	6	4.4%	2	3.7%
無回答	8	4.6%	10	7.4%	1	1.9%

【問17】 あなたの住んでいる地域にこれから必要だと思われる

「住民同士がつながる場」とはどんな場だと思えますか。（複数回答）

	東地区		中地区		西地区	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
地域の人が気軽に お茶のみなどで寄れる場所	64	36.8%	46	33.8%	24	44.4%
困ったことを相談できる場所	56	32.2%	46	33.8%	15	27.8%
高齢者が集まって運動や 体操が出来る場所	50	28.7%	48	35.3%	17	31.5%
地域のために必要な ボランティア活動を考える場	24	13.8%	19	14.0%	5	9.3%
子どもと大人がふれあえる 世代間の交流の場	21	12.1%	15	11.0%	3	5.6%
子育て中の親子が集える場	9	5.2%	6	4.4%	2	3.7%
退職後の男性が集える場	6	3.4%	1	0.7%	1	1.9%
その他	13	7.5%	9	6.6%	3	5.6%
無回答	46	26.4%	35	25.7%	9	16.7%

【問18】 災害時に地域住民が助け合って避難するためには、
日頃から地域ぐるみでどのような準備をすればよいと思いますか。（複数回答）

	東地区		中地区		西地区	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
地域住民同士が活発に交流する	47	27.0%	35	25.7%	11	20.4%
地域で防災情報や災害情報の連携体制をつくる	61	35.1%	46	33.8%	12	22.2%
地域で避難訓練を実施する	38	21.8%	25	18.4%	10	18.5%
地域の避難場所を把握しておく	98	56.3%	82	60.3%	32	59.3%
高齢者など、地域で避難支援を必要とする人を把握し、情報を共有しておく	64	36.8%	43	31.6%	20	37.0%
避難をあきらめている	13	7.5%	11	8.1%	2	3.7%
その他	4	2.3%	4	2.9%	1	1.9%
わからない	15	8.6%	13	9.6%	3	5.6%
無回答	19	10.9%	19	14.0%	10	18.5%

【問19】 「ふれあい活動（見守り、声かけ活動）」で、感じることを教えてください。（複数回答）

	東地区		中地区		西地区	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
見守られているという安心感がある	82	47.1%	65	47.8%	28	51.9%
何かあったときに相談できる相手がいるという安心感がある	101	58.0%	75	55.1%	27	50.0%
実際に困った際に助けてもらったことがある	30	17.2%	20	14.7%	14	25.9%
支援していただいて申し訳ないと思うときがある	30	17.2%	25	18.4%	9	16.7%
いつも見られているのではないかと思うときがある	5	2.9%	4	2.9%	0	0.0%
役立っていると思わない	7	4.0%	5	3.7%	3	5.6%
その他	9	5.2%	2	1.5%	0	0.0%
無回答	25	14.4%	28	20.6%	10	18.5%

【問20】あなたは地域の行事や活動に協力してみたいと思いますか。

	東地区		中地区		西地区	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
既に協力している	20	11.5%	12	8.8%	8	14.8%
可能な範囲で協力を してみたい	70	40.2%	62	45.6%	19	35.2%
協力したいとは思わない	14	8.0%	6	4.4%	5	9.3%
その他	32	18.4%	15	11.0%	8	14.8%
無回答	38	21.8%	41	30.1%	14	25.9%

春日校区社会福祉協議会 地域福祉活動計画

発行日	令和7年3月
発行	春日校区社会福祉協議会 大分市社会福祉協議会 地域福祉課 地域福祉係 〒870-0839 大分市金池南1丁目5番1号 J: COM ホルトホール大分4階 TEL 097-547-7418